令和５年度　公益財団法人東近江市地域振興事業団　事業計画

経営方針

公益財団法人東近江市地域振興事業団は、今日まで施設管理の専門職員による管理運営コストの効率化を図りつつ、施設の設置目的に即した公の施設の管理運営を行い、施設設置者である東近江市及び多くの市民・利用者の皆さんの声にお応えしてきたところです。

費用対効果の観点から、民間手法を取り入れた経営及び自立運営がより一層発揮できるよう経費の効率性を高める施設管理運営を行い、利用者へのサービスが低下することのないよう業務量に応じた適正な配置を確保して施設管理運営に万全を期します。

また、公の施設の管理運営の担い手として、利用面での平等性・公平性の確保及び管理運営面での経費の効率化、利用料収入の増加、市民の効用（利用者満足度）の向上も大きな使命であると考えています。これまでのこうした実績や経験を生かしながら、市民・利用者の皆様がいつでもどこでも気軽に生涯学習・文化・芸術・スポーツにふれあう憩いの場を提供し、市民福祉の増進及び生涯学習・文化・芸術・スポーツの振興に関する公益目的事業と市民生活と都市景観の向上を目指した事業を行い、法人の目的である明るく住みよい連帯感あふれる地域社会の形成に寄与していきたいと考えています。

さらに、公益目的事業を行うことを主たる目的とする公益財団法人として、多様化する市民ニーズに対応した事業展開ができるよう日々、点検検証しながら公の施設の管理運営を行うことを基本的な経営方針とします。

事業実施計画

令和 5 年度の当事業団は、東近江市の公の施設（13 施設）の指定管理事業者として管理運営を実施し、そのほか東近江市から 12 の業務を受託します。

職員は、事業団職員・常勤嘱託員、嘱託職員、臨時職員、パート職員合わせて 82 名となり、人事管理業務や公益法人化に伴う会計が煩雑になりますが、事務改善・簡素化に努めます。

また、事業団情報発信のためのホームページ内容を検討し、リアルタイムの情報提供等を行い利用者サービスに努めます。さらに職員の能力育成・向上に関しては、職員研修（管理職研修、人権研修、資格取得講座、マナー教育、技術教育、専門教育、緊急時対応教育等）を実施します。

法人の目的である明るく住みよい連帯感あふれる地域社会の形成に寄与するため、各施設から代表者を選出し、「企画戦略会議」を設置します。会議では、施設間の枠を超えて、改めて公益財団法人として地域貢献できる事業を始め、市民に対する事業団の在

り方を再検討します。成果を地域に生かしていく事業目標の設定並びに各種課題を職員間で共有し、互いが協力できる体制づくりに努めます。

総務課の主要な業務
- 事業団の運営（理事会・評議員会）に関する業務
- 事業団の財産管理及び財務に関する業務
- 事業団職員の人事に関する業務
- 事業団職員の研修に関する業務
- 事業団の会計経理に関する業務
- 各施設との連絡調整に関する業務

公益目的事業（市民福祉の増進並びに教育・文化・スポーツの振興に関する事業）

１　伝統文化の保存継承と芸術の振興を図る事業及びそれに付随する事業

（1）　伝統文化の保存継承事業

世界凧博物館東近江大凧会館では、伝統文化の保存継承事業として次の事業を行います。

ア　基本的博物館機能（博物館資料の活用）

(ｱ)　東近江大凧を中心とした凧に関する資料の収集、展示及び保存

(ｲ)　東近江大凧を中心とした凧に関する資料の調査研究

イ　展示会の開催

(ｱ)　「鯉の凧展」	期間	４月 27 日（木）～　５月　７日（日）
(ｲ)　夏休み特別企画	期間	７月 14 日（金）～　８月 27 日（日）
(ｳ)　2023 年特別企画　日本の凧シリーズ　東海	期間	10 月 27 日（金）～11 月 26 日（日）
(ｴ)　クリスマスの凧展	期間	12 月　２日（土）～12 月 24 日（日）
(ｵ)　新春特別企画「辰の凧と郷土玩具展」	期間	１月　３日（水）～　１月 21 日（日）
(ｶ)　鬼の凧展	期間	１月 26 日（金）～　２月 12 日（月）
(ｷ)　福よせ雛	期間	２月 16 日（金）～　４月 14 日（日）

ウ　体験教室の開催

（ｱ）　親子凧作り教室～聖徳太子の凧を作ろう～　　開催日　　４月 30 日（日）

（ｲ）　親子凧作り教室～カブトムシの凧を作ろう～　　開催時期　　７月～８月　２回

（ｳ）　親子凧作り教室～空を飛ぶサンタクロースの凧を作ろう～　　開催時期　12 月

（ｴ）　親子凧作り教室～辰（たつ）の凧を作ろう～　　開催時期　12 月

（ｵ）　凧作りコーナーの設置、市内外からの依頼に応じた東近江大凧作り、凧作り、連凧作り等凧作り一般の指導と助言等

（ｶ）　小学校の校外学習による見学と凧作り体験

（ｷ）　その他の体験教室

・企画展に関連した「体験教室」を開催　　開催時期　　７月、８月、12 月、１月

エ　新春凧揚げ大会の開催

東近江大凧保存会と共催で、市内の子どもたちが親子で自然の風と触合う凧揚げを楽しみ、当日飛揚予定である祝新成人 20 畳敷大凧飛揚を見学します。

日時　１月７日（日）　午前 11 時から午後２時 30 分まで

オ　機関紙の発行及びホームページのリニューアルと運営、SNS の運営

（ｱ）　大凧便りの発行（毎月１回）

（ｲ）　ホームページのリニューアル、運営　http://oodako.net/

（ｳ）　SNS の運営

カ　東近江大凧のミニチュア、凧作りキットの販売

（ｱ）　土産用東近江大凧・絵葉書等を地元の業者や観光協会等との委託販売契約により販売

（ｲ）　子どもたちに「もの作りの大切さ」を知ってもらうことを目的として凧作り製作キットの販売

キ　東近江大凧の保存継承団体である「東近江大凧保存会」への支援

東近江大凧保存会の事務所機能を東近江大凧会館に置き、大凧保存会と外部との連絡調整や問合せに対応し、東近江大凧

会館の活動を通じて東近江大凧の保存伝承活動に関わって行きます。

また、東近江市の地域文化であり、国の無形民俗文化財にも選択されている「東近江大凧」の将来の担い手となる子どもたちに、その製作及び飛揚技術を伝授するプロジェクトとして『チャレンジ“大凧”』の事業を平成 19 年度から東近江大凧保存会が行っていますが、今後も保存会の活動をサポートします。

ク　凧の学習に関する教育活動の支援

校外学習として、県内の小学校の来館が増えてきていますが、地域文化「東近江大凧」及び凧の世界の学習の場として取り入れていただけるよう、さらに積極的な働きかけを行います。また、地域文化を学習する近隣の大学や滋賀県出身の大学生の学習の場としても提供します。

ケ　東近江市観光施策との連携

東近江市への来訪者増加方策として、市内博物館との連携ポスターの発行や観光施設・文化施設との情報交換等で方策の連携を図ります。また、近隣地域の観光や滋賀県内の観光の案内を行い、各地域のパンフレットも充実させ、来訪者へおもてなしの心で接して行きます。

(2)　文化、芸術の向上及び振興事業

ア　八日市文化芸術会館による振興事業

東近江市立八日市文化芸術会館は、芸術文化の振興を行い、東近江市における芸術文化のシンクタンクとして発展に貢献します。地域の芸術文化の発展のため５つのミッション（①つくる、②みる、③ひろげる、④つなぐ・そだてる、⑤きく・こたえる）を設定し実行します。ミッションを達成するために、“６つ”のプロジェクトを推進します。

(ｱ)　市民による舞台芸術の創造プロジェクト

地域の文化資源を発掘・活用し、地域のアイデンティティ発信につながるような舞台芸術を企画制作します。プロの指導によるミュージカルに取り組み、聖徳太子をテーマにした第２弾を制作し全国へ発信します。

東近江創作ミュージカル 2023　　―令和５年 12 月２日（土）、３日（日）―

聖徳太子ミュージカル『日出ずる国　厩戸の皇子』（リニューアル公演）

(ｲ)　舞台芸術アプローチプロジェクト

さらに充実した文化芸術会館をめざして、舞台芸術アプローチプロジェクトを展開します。市民のニーズや時代の動向に合わせたタイムリーな舞台芸術やパフォーマンスを紹介します。

渡辺美里＆オーケストラアンサンブル金沢コンサート　―令和５年８月６日（日）―

(ｳ)　公立文化施設活性化につながるプロジェクト

市民の皆様が文化芸術に対する価値観を語り合う機会を作ります。

未来を担う若者達やシルバー世代の皆さんの価値観を探り対話を図ります。

①　地域のフェスティバルや文化活動を支援する場所の提供・人材派遣・後援事業を行います。

②　生涯学習センター機能の役割を担うとともに、ライフロング事業と連携協力します。

③　避難訓練コンサート　ー令和６年２月25日（日）―

市民の皆様にご協力いただき、実際のコンサート中に訓練を行うことでホールスタッフの危機対応能力の向上を図るとともに、安心してご利用・ご来場いただけるホール運営を目指します。

④　びわこ学院大学ゼミ発表会　―令和６年１月８日（祝）―

びわこ学院大学との連携事業として、大学の教育・保育・福祉教育における音楽教育プログラム（演奏会）を一般市民の皆様に触れていただく場を提供し、大学と市民の交流を図ります。

(ｴ)　次世代につなぐ文化芸術普及プロジェクト

①　東近江市文化倶楽部創設モデル

地域における新たな文化芸術に親しむ環境づくりと文化部活動の地域移行を事業団が積極的に支援します。東近江市内中学校対象に演劇部を創設、東近江創作ミュージカルのノウハウを活かし、八日市文化芸術会館を拠点に活動します。

②　市民音楽活動支援事業

現在東近江市内に一般吹奏楽・管弦楽の活動団体が存在せず、市内の音楽活動家は市外の団体に所属して活動をしています。そこで、充実した文化芸術活動拠点となるべく市民の楽器演奏活動を支援します。吹奏楽や管弦楽の演奏のワークショップなど回を重ね楽団化を目指します。プロの楽団の演奏会も合わせて開催します。

(ｵ)　企画展示プロジェクト

アーティストによる文化ホールや地域でのアート活動を公開します。

企画展「Know arts」4　　―令和６年１月―

同時代を生きる美術作家の幅広い表現や思考に触れる機会とします。作品を介して東近江市に根差す歴史や自然を再発見し、視野を広げ心の豊かさを養うことを目的に開催します。また、展示室をアトリエ（工房）として活用することも取り入れていきます。

(ｶ)　アートインフォメーションプロジェクト

分かりやすい情報展示コーナー、開かれた窓口サービス、親しみ易いロビーや喫茶コーナーの設置により身近なホール環境を演出します。これまで蓄積された地域の多種多様な文化芸術活動情報の紹介やアーティストの紹介。文化ホールの情報網を生かした地元フェスティバルや芸術文化祭等の企画＆支援などを通じて、観光施設や中心市街地活性化施策などと連携し、地域の活性化を図ります。

市民の文化活動サポート、文化の相談窓口、企画持込みの招聘やサポート、インターネット、SNS によるメール友の会の設置、チケット購入オンライン化の普及、オンライン施設予約の導入によりさらに市民サービスの充実を図ります。

イ　あかね文化ホールによる振興事業

文化芸術は、人々の活力の源で生きがいとなる大切な要素であり、地域の発展と振興に大きな影響を与えるものであります。すなわち、市民の芸術活動の拠点となり、『芸術活動の充実した地域文化』の発展と振興こそが、すべての文化ホールの使命であると考えます。あかね文化ホールは、特性が最大限に発揮されるよう事業展開を図ることを念頭に置き、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律の趣旨に沿った事業を企画推進します。

(ｱ)　舞台芸術の魅力を身近に体験体感し明日への活力につながるプログラム。

プロアーティストによる実演芸術を紹介する鑑賞事業

東近江市出身のオーボエ演奏家がプロデュースする演奏会　　―年４回程度―

街角に素敵な音楽が流れる、「音楽の街、東近江」をテーマに開催します。普段の生活の中で、クラシック音楽に触れる機会は少ないのではないでしょうか。皆さんに気軽に生の演奏に触れて、気軽に音楽を聴いていただけるよう工夫し開催します。

(1)　子どもたちのための芸術文化プロジェクト（次世代へつなぐ文化芸術普及事業）

将来の東近江の芸術文化活動を担う子どもたちへのアプローチとなる事業

文化ホールを訪れた経験も、魅力的なアートや舞台芸術を鑑賞した経験もない子どもたちが、表現の楽しさ・創造の歓び・舞台芸術の魅力を身近に体験体感できるプログラムを展開します。

①　劇団四季ファミリーミュージカル「人間になりたかった猫」　　―令和５年８月４日（金）―

四季の中でも特に人気のあるファミリーミュージカル。

②　音楽の絵本　　―令和５年７月15日（土）―

『音楽の絵本』はクラシック音楽における絵本のような役割ができれば…と考えられ、そして誕生しました。指揮者のオカピをはじめ、演奏するのは全て希少動物という金管五重奏「ズーラシアンブラス」そして弦楽四重奏の「弦（つる）うさぎ」本格的なクラシックから、アニメに童謡まで、動物たちが奏でる多彩な音楽の世界をお届けします。

③　ヒネモス「奇想天外おもちゃの楽隊」　　―令和５年９月９日（土）―

現在 メンバー10人を擁する無駄に大迫力な楽団 ヒネモスの公演をお届けします。

(3)　それに付随する事業

公益目的での施設貸付事業

「東近江市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例」の規定に基づき、管理運営に関する基本協定を遵守し、円滑な運営・利用促進を図ります。まず、伝統文化の保存継承を行う施設においては、学芸員や大凧保存会が作成方法等を指導しながら、学校・子ども会の凧づくり教室を開催するために施設貸付事業を行います。

次に、文化・芸術の振興を図る事業を行う施設では、各種団体の発表会や講演会、芸術展等に施設貸付事業を行います。市民交流の拠点であることを認識し、市民の方に広く利用いただくために、ホームページ上や公共施設予約システム、施設独自の広報紙等において利用方法や空き状況を公開し、より多くの方に利用の機会が広く平等に行きわたるよう、定められた受付期間、期日を遵守し、公平、公正な利用を確保していきます。

２　市民福祉の推進と生涯教育の振興を図る事業及びそれに付随する事業

(1)　市民福祉の推進事業

勤労者総合福祉センターでは、誰もが「健康で輝くように生き生きライフ」を送れるよう、また、心身の健康維持と明るく豊かな市民生活を創造するため、生涯学習のきっかけづくりとして文化教養講座・キャリアアップ講座・健康運動講座を

開講します。講座は、アンケート調査等によってニーズを把握し、段階的にレベルアップを図るカリキュラムで開催します。いつでも各ライフステージにおいて参加できるよう受講者を募集し、勤労者福祉の増進を図ります。講座終了後は、受講生によるサークル活動に導くことによって、余暇を有効利用し、勤労意欲の向上を図ります。新型コロナウィルス感染拡大防止を踏まえながら、細心の注意をはらって講座を展開していきます。

ア　講座の開講

(ｱ)　文化教養講座

茶道　年 26 回、実用書道（昼の部・夜の部）・筆ペン・ボールペン字　各年 20 回、フラワーアレンジ　年 18 回、ビーズアクセサリー　年 18 回、パッチワーク（初級・中級）　各年 18 回、植物雑貨（前期５回・後期５回）・つまみ細工　年 12 回

(ｲ)　キャリアアップ講座

①英会話入門　年 20 回・英会話初級　年 22 回、英会話上級　年 20 回

時代の流れとグローバル社会に対応できるよう英会話講座を開催し、語学力向上への取組みを図ります。

②日商簿記３級　年 18 回、FP（ファイナンシャルプランナー）２級　年 16 回、FP（ファイナンシャルプランナー）３級　年 12 回、ライフ＆マネー　年７回、資産運用入門　年６回

スキルアップ・キャリアアップを目指し、「ライフ＆マネー」や「資産運用講座」を開講します。「ファイナンシャルプランナー３級講座」「ファイナンシャルプランナー２級講座」については、厚生労働大臣が認める国家資格で、９月・翌年 5 月の検定試験による資格取得を目指します。「日商簿記３級講座」は、11 月に商工会議所が検定試験を実施され、全国的にも知名度の高い資格で、経理や財務、一般事務への就職・転職に有利な資格でもあります。いずれの講座も資格取得の支援と自己啓発の支援を行います。

(ｳ)　健康運動講座

健康太極拳　年 25 回、リフレッシュヨガ（A・B）　各年 28 回、らくらく卓球　年 20 回、中高年のための健康卓球講座　年 23 回、らくらくヨガ　年 20 回、優しいベリーダンス　年 21 回、リラクゼーションヨガ　年 20 回、ウォーキングエクササイズ　年 17 回、有酸素運動とヨガで健康に（水・金）各年 12 回、凜軸（りんじく・骨盤調整エクササイズ）年 12 回

(ｴ)　東近江市人権・男女共同参画課主催

ウェルネス八日市共催特別講座　女性のためのきらめき☆セミナー　年４回

イ　発表会

ウェルネス文化発表会は、日頃の文化教養講座及び生涯学習の成果を発表する場として 10 月に開催します。出演・出展を目標にすることで、積極的な講座出席・サークル活動へ導きます。作品展示やステージ発表はもちろん、一般来館者対象の体験講座を開催したり、講座の受講生としてだけではなく指導者や補佐する側の体験によって、次段階へのステップアップへと繋げていきます。

また、他団体、他講座の受講者はもちろん地元の方との交流や親睦も図り、新たな分野への PR とともに次年度講座や利用者の増客に努めます。

ウ　展示ギャラリー

館内ホール・情報コーナーを利用して、講座受講生・ウェルネス利用団体・東近江市地域・市外などへ呼びかけ作品展示を行います。多様な分野の作品に触れることで、講座やサークルへの興味を持ってもらうとともに、作品展示者の制作意欲が高まるよう PR していきます。

エ　サークル支援事業

各講座終了後は、受講生によるサークル活動に導くことによって、生涯にわたる適度なスポーツや文化を通じて余暇を有効利用し、勤労意欲の向上に寄与するとともに生涯学習の普及振興を図ります。

また、一般利用者グループと自主サークルグループのサークル活動情報の一元化を図り、講座・教室情報とともに「情報ガイド」として発行します。施設利用団体アンケートも実施することで、利用団体の多様なニーズに合わせて、施設利用団体の活動が維持継続発展できるよう、積極的な環境づくりと支援を行います。

オ　その他の事業

講座の申込みについては、講座運営管理システムを導入してオンラインにより受付けています。パソコンやスマートフォン等を使ってインターネットから申込みができ、窓口に来館することなくいつでも可能になります。

（2）　生涯学習の振興を図る事業

ア　生涯学習推進のための事業

生涯学習センター機能的事業（ライフロング）

(ｱ)　生涯学習講座の開催と展開

生涯学習が広く市民や地域に拡大・浸透し、生涯学習社会の構築に貢献していくためには、学習機会を生涯にわたり切れ目なく提供していくことが重要であることから、子どもから高齢者に至る幅広い世代を対象に、多様な分野・テーマで講座を開催していきます。また、生涯学習による学びが、人づくり、まちづくりへとつながり、学びの場所がまちにあふれ、ひとりひとりが輝いて生きるまちづくりを目指し、これまで培ってきたノウハウと実績を活かした展開を継続していきます。

指定管理更新に伴い開催する会場となる、あかね文化ホール、コミュニティセンター３施設以上（湖東、蒲生、能登川コミュニティセンター）及び八日市文化芸術会館において、10 分野の構成で、以下に示す講座を軸に展開していきます。ただし、令和５年度は、開催会場の一つである湖東コミュニティセンターの館内工事による施設利用の制限もあり、開催状況に様々な影響がありますが、講座内容を精査したうえで、市民の学ぶ意欲に応えられるよう機会提供を継続していきます。

また、市内の各コミュニティセンターや公共施設の利用促進にも留意し、各地域に学習機会を提供できるよう講座を企画開催していきます。申込受付については、既に導入しているオンラインによる受付システムを駆使し、効率よい受付及び受講生との双方向のコミュニケーションを確立していきます。継続して実施している大学との連携についても、より協力体制を深め、新たな学びの場を提供していきます。

さらに、講座やイベントごとにアンケート調査を行い、地域の多様なニーズの把握に努めます。各地域の課題への対応や特徴を活かし、まちづくりにつながるよう市内コミュニティセンターへの情報提供を行うとともに、講座の企画、協力等を実施していきます。

上記を踏まえ、今年度は以下のとおり事業を実施します。

「テーマ別講座の実施」

①　子育て講座

湖東コミュニティセンター会場

親子対象講座　こどもと楽しく英会話　年間 10 回　リトミック教室　年間 11 回

蒲生コミュニティセンター

親子で楽しくリトミック（未就園 0～3 歳児）　年間 11 回当日参加

②　チャレンジこども応援講座

八日市文化芸術会館会場

チャレンジネイチャーキッズ　年間３回、サイエンスキッズ　年間３回

湖東コミュニティセンター会場

キッズストリートダンス　年間 20 回、ＡＢＣ教室　年間 32 回（４クラス）

夏期こども講座　年間３回

蒲生コミュニティセンター会場

親子で楽しくリトミック（3～６歳児）　年間１１回当日参加、

夏休み 小学生・中学生プログラミング教室　年間３回×２コース、夏休み木工教室　年間１回×２コース

夏休み お菓子教室　年間 １ 回、夏休みパン教室　年間 １ 回　夏休み・冬休み天文教室　年間 ２ 回

③　若者講座

キャンプ･アウトドア編、パーソナルカラーとパーソナリティカラーを見つける編、ドローン体験編、友禅染体験編、iPhone､iPad で作曲しよう編　各１回（計５回）

④　東近江市の地域講座

湖東コミュニティセンター会場

異文化交流　はじめまして韓国語　年間 20 回

蒲生コミュニティセンター会場

東近江の食文化伝統料理　年間３回

その他（公開講座・大学連携等）

観光協会主催ちいさなたびいち 2023 へプログラム参加　年間 １ 回

⑤　地域課題に向かう講座

八日市文化芸術会館会場

ふくしのいっぽ　年間４回

能登川コミュニティセンター会場

ふくしのいっぽ　年間４回

その他（公開講座・大学連携等）

びわこ学院大学、滋賀県立大学との連携協力のもと、ライフロング講座開催会場を中心にして、ライフロングの受講生及び一般の方々を対象に、市内コミュニティセンターとも連携し、健康や子育て、人権など地域課題をテーマにした公開講座を開催します。　年間６回程度予定

⑥　文化教養講座

八日市文化芸術会館会場

基礎から学ぶ書の講座　年間６回

湖東コミュニティセンター会場

はじめての絵画教室　年間 11 回、はじめてのお茶　年間８回、
陶芸教室　年間 12 回

蒲生コミュニティセンター会場

絵手紙教室　年間 10 回、日本画を基礎から学ぶ教室　年間５回×２期
文学の散歩道　年間５回×２期　歴史講座　年間５回×２期　陶芸入門　年間５回×２期
はじめての古文書　年間５回×２期　はじめての坐禅教室　年間 10 回

⑦　仲間づくりと交流が生まれる講座

八日市文化芸術会館会場

パステル画講座　年間 11 回、ゆる文字リラックス講座　年間４回　ライアー講座　年間８回
フォークギター入門編・演奏編　年間各 10 回、かんたんミニ鍵盤脳トレ講座　年間 10 回
和楽器 三絃講座　年間９回　大道芸パフォーマー　年間 10 回

湖東コミュニティセンター会場

たのしいクレイクラフト　年間 11 回、かぎ針編みとマクラメ雑貨　年間８回講座

蒲生コミュニティセンター会場

大人のためのはじめてのピアノ　年間 12 回、パン教室　年間５回、お菓子教室　年間３回×２期
うたの花束　年間６回当日参加

能登川コミュニティセンター会場

たのしいスケッチ講座　年間 11 回、ゆる文字エンジョイ講座　年間３回×２期
季節を彩るパン教室　年間３回

⑧　健康に過ごすためのいきいき講座

八日市文化芸術会館会場

ゆったりヨガ講座(午前・午後)　年間 18 回×２コース、音楽 de 健康に　年間６回

湖東コミュニティセンター会場

はじめてのタップダンス　年間 20 回

蒲生コミュニティセンター会場

有酸素運動とヨガ　年間 22 回当日参加、リズム体操　年間 22 回当日参加

能登川コミュニティセンター会場

からだがよろこぶ料理シリーズ　年間３回

⑨　快適ライフを過ごすための講座

八日市文化芸術会館会場

ＭＣ講座　年間８回、かんたんイラスト講座　年間８回、整理収納講座　年間３回

湖東コミュニティセンター会場

はじめての DIY　年間３回×２期　はじめてのお茶　年間８回

蒲生コミュニティセンター会場

筆ペン教室　年間 10 回、ステンドグラス教室　年間５回

能登川コミュニティセンター会場

写真撮影かんたん編集コース　年間５回

⑩ホール連携講座

八日市文化芸術会館会場又はあかね文化ホール

ホール探検隊　年間１回　ほか

(ｲ)　オンライン活用による双方向コミュニケーション事業

①　受付方法について

令和３年度に申込み時の負担軽減と窓口混雑緩和のため、パソコンやスマートフォンを使ってインターネットでの申込みを可能にし、さらに令和４年度には新システムを導入し、利便性を高めました。このシステムを継続して活用していきます。窓口に来られた方には丁寧に対応し説明と申込みのお手伝いをしながら、段階的にオンライン申込を促していきます。受講料納入については、令和５年度は湖東会場の館内工事の影響がありますが、窓口対応を検討しながら支障のないよう進めていきます。

②　オンラインシステムの活用について

現在のホームページとオンラインシステムを活用し、双方向コミュニケーションによる新たなライフロング受講生の

グループを構築していきます。

(ｳ)　生涯学習講座ライフロングの成果発表と市民へのＰＲ事業

①　受講生作品展

ライフロングの講座受講生の学びの成果発表と講座を広くＰＲし、市民に知っていただくための受講生作品展を開催します。ライフロングの特徴を活かした体験コーナー設置等を工夫しながら開催します。（２月９日～11 日予定）

②　クリスマスコンサート

ライフロングの音楽系講座の発表の場としてクリスマスコンサートを開催します。ホールでの発表内容が年々充実しており、今年度も出演者の達成感や満足感につなげています。次のステップとして受講生の中からも開催に関わっていただけるように取り組んでいきます。（12 月 17 日予定）

(ｴ)　各種事業の情報収集と発信（学びのインフォメーション）事業

①　各コミュニティセンターが生涯学習講座を進めて行くうえで参考となるような講座、講師情報の提供を行うとともに、生涯学習課主催の「コミュニティセンター職員研修講座」の開催に企画提供し、協力していきます。（年間２回、５月、８月予定）

②　生涯学習情報発信のための生涯学習だより「ライフロング」を発行します。主催講座紹介、市民が参加できる様々な講座の紹介に努めるため隔月に発行し、講座受講生への配布や市内への配布で情報提供に努めます。また、東近江ケーブルテレビ番組内で２箇月に１回ライフロングのコーナーを設け、情報発信を行います。

③　あかね文化ホール、八日市文化芸術会館のホームページから講座の募集情報、講座レポート情報の発信に努めます。

④　市関係の情報媒体（市広報、ケーブルテレビ、文字放送等）だけでなくＳＮＳを幅広く活用した情報発信にも努めます。

⑤　市内の様々な生涯学習講座やイベント等の情報収集に努めます。

⑥　主催した講座の受講生からの意見や要望等をお聞きするためのアンケートを実施し、これにより得られた情報は、今後の講座の企画運営に生かしていきます。

(ｵ)　各種団体・サークルの支援（アフターライフロング支援）事業

今日まで展開してきた各種講座の受講生が自主サークルを形成し、学習継続するとともに地域に根付く活動をされているグループへの支援を下記のとおり行います。また、「学習の継続や深化は、自主的なサークル活動を通して」の基本的な考え方のもと、主催する長期講座の中からサークルへの移行育成に取り組みます。市の行っている「ちょときてぇな講座」への登録や、市民ギャラリーの活用へ導いていきます。

①　自主活動へ導く事務的な手助け
②　発表の場、活動の場の提供
③　会員募集への協力

イ　スポーツの推進事業

生涯スポーツ振興のため、各施設から「企画戦略会議」担当者を選出し、各施設講座事業の集約や生涯スポーツの振興に対する達成度評価ができるようなアンケートの実施とその分析によって反省と検討を行い、「スポーツ事業検討委員会」で第三者の助言指導をいただきながら事業の展開に活かしていきます。

(ｱ)　各種教室の開催

長山公園

ふれあいソフトテニス教室…ふれあいや健康、体力の維持・増進を図るとともに市民スポーツの育成を目的として教室を開講します。

５月 21 日～７月 23 日の毎週日曜日（各コース 10 回）

Ａコース　９：00～10：30　定員 15 名、Ｂコース　10：30～12：00　定員 15 名

ひばり公園

生涯スポーツとして気軽にスポーツに親しみ、生活文化の向上やストレス・運動不足解消を目的とします。

硬式テニス教室　　10 回×４期×７クラス　定員各 10 名（初級４クラス、中級３クラス）

成人から高齢者を対象に健康寿命の延伸や基礎体力の維持増進を目的とします。

①　ストレッチヨガ教室　　７回×６期　定員 10 名
②　椅子ヨガ教室　　７回×６期　定員 10 名
③　かんたん健康体操教室　７回×６期　定員 10 名

湖東体育館

子どものスポーツ競技人口の裾野を広げ、様々なスポーツとの出会いや親しむ機会の提供を目的とします。

①　ジュニアバスケットボール教室　５回×２期　定員 15 名
②　新規教室　　５回×２期　定員 15 名

すこやかの杜運動公園

子どものスポーツ競技人口の裾野を広げ、未来のアスリート育成を目的とします。

① ジュニアサッカー教室　　５回×２期　定員 20 名

② 新規教室　　５回×２期　定員 15 名

蒲生体育館

総合型地域スポーツクラブとの連携により、バドミントン、卓球、ソフトテニスの体験型事業を貸館時間帯に開催し、運動のきっかけづくりの場所を提供します。また、未就学児を対象にしたキッズボールパークを開催します。さらに、健康志向の一助として、地域住民の方々を対象に気軽に体験できる体操教室を開催し、地域全体の健康増進を目指します。

① 気軽にバドミントン・ソフトテニス体験（あかねスポーツクラブと連携）通年

② 健康体操教室　10 回程度の教室を１教室　定員８～10 名

③ 未就学児対象のスポーツ教室　バドミントン・卓球等の体験教室　６回程度　年度間１回　定員 15 名

④ キッズボールパークフェスタｉｎガモウ　親子 30 組

おくのの運動公園

フットサル教室　　８回×４期　定員 12 名

ジュニアスポーツの普及と地域のジュニア選手の発掘・強化を目的とした事業で、小学生対象とします。併せて地域のスポーツ関係者のネットワーク構築を目指した啓発事業とします。

(ｲ) 共催・後援事業・総合型地域スポーツクラブの支援事業等の開催

ふれあい運動公園

能登川総合スポーツクラブと共催する各大会事業を開催します。これにより、市民への健康及び体力増進と、総合型地域スポーツクラブの普及振興を図ります。

グラウンドゴルフペア大会　　毎月第１水曜日開催

グラウンドゴルフ月例大会　　毎月第３土曜日開催

グラウンドゴルフ各種大会　　毎月第４金曜日開催

蒲生体育館

あかねスポーツクラブの体育館内での活動は、種目ごとに活動日を固定しているため、一般利用者と共用できるよう引き続き支援していきます。また、健康づくりや運動を始めようとする方を対象とした事業や、子どもたちを対象とし

たイベント等も開催されています。スポーツクラブの事業企画や運営に携わりながら、これら蒲生地域に根差した活動を中心に支援を行います。

① 月曜日の午前ソフトテニス、水曜日の午前ビーチボール、木曜日の午後・土曜日の夜間卓球・バドミントン・ビーチボール等

② ニュースポーツやイベント開催として、スポーツ人口を増やす取組（地域や団体で楽しんでいただける出前教室等）を展開していきます。グラウンドゴルフ（５月）、カレー作り（７月）、健康ウォーク（11 月）の協力及び補助支援。

おくのの運動公園

総合型地域スポーツクラブと連携を図り、スポーツの普及と発展に努められるよう共催事業を行います。

あいとうスポーツクラブ春のノルディックウォーキング、あいとうスポーツクラブディスコン大会、愛東地区ソフトボール大会、あいとうフットサル大会、あいとうスポーツクラブ杯ビーチボール大会（年 2 回）、あいとうナイターグラウンドゴルフ大会、あいとう卓球大会、あいとうディスコン大会、あいとうスポーツフェステバル、秋のノルディックウォーク

(ｳ) アンケートの実施

施設利用者や教室受講生を対象としたアンケートを実施し、生涯スポーツの振興に対する達成度を評価するため、「スポーツ事業検討委員会」による生涯スポーツ振興の方策を検討し、検証を行います。

ウ スポーツ大会、競技会等の主催事業

長山公園

(ｱ) 第 48 回東近江市民早朝親睦野球大会（５月～10 月末までの毎週土曜日） 募集チーム数 10 チーム

(ｲ) 第 19 回東近江市民ソフトボール大会（９月３日開催）一般男子の部８チーム、シニア＆男女混合の部８チーム

ひばり公園

(ｱ) ひばりドーム杯（硬式テニス）

テニスの普及及び市民相互の交流を深めることを目的とします。

開催日 10 月 29 日（日）、会場 ひばりドーム・屋外テニスコート

大会内容 一般男子・一般女子・混合ミックス経験者・初心者の４部門各５チーム計 20 チーム

(ｲ) 社会人野球オープン戦及び少年野球教室

社会人野球チーム【カナフレックス（東近江市）】と【日本新薬（京都市）】のオープン戦開催時にカナフレックス選手による野球教室を開催します。

開催日　５月５日（日）、会場　湖東スタジアム

(ｳ)　第８回東近江女子野球交流戦

女子野球を通じて競技の歓びを経験する機会を広く提供することを目的とします。

開催日　11 月 23 日（木）、会場　湖東スタジアム

大会内容　中学生女子、高校・大学生女子、社会人女子の３試合及びキッズチアパフォーマンス

(I)　東近江市地域振興事業団理事長杯争奪軟式野球大会

2025 年の国民スポーツ大会開催に向けて、軟式野球への振興気運を高めることを目的とします。

開催日　11 月 19 日（日）、会場　湖東スタジアム

大会内容　成年の部４チーム

蒲生体育館

東近江市バドミントン交流大会

バドミントンを通じ競技者の健康づくりや親睦を深めることを目的とします。

開催日　２月 10 日、会場　蒲生体育館

大会内容　３クラス各６チーム募集し、団体戦で開催します。

おくのの運動公園

ソフトバレーボール大会

ソフトバレーボールを通じて幅広い方々の出会いと生涯スポーツの普及及びおくのの運動公園の利用拡大を図ります。

開催日　11 月５日開催、会場　おくのの運動公園体育館

大会内容　市内外を問わずソフトバレー愛好者で編成の 36 チーム

エ　スポーツ大会、競技会等の貸館事業

長山公園

full-sato.com BASEBALL Tournament 2023	6月 17 日・11 月４日・18 日・19 日他
第 76 回滋賀県民体育大会（ソフトボール）	7月 23 日・30 日

ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023	8月24日・25日・11月25日・26日他
第69回全日本総合男子ソフトボール選手権大会	9月16日～9月19日
第19回東近江市民体育大会ソフトボールの部	10月15日・22日他
東近江市スポーツ少年団オレンジリボンカップ（軟式野球）	2月18日・25日

ひばり公園

国民スポーツ大会県予選（軟式野球）	4月　1日・2日
第17回ウィークデーテニス大会（硬式テニス）	4月　6日
春季近畿地区高等学校野球滋賀県大会	4月15日～　5月6日（8日間）
県民体育大会地区予選（軟式野球）	4月30日・5月7日
東近江市スポーツ少年団オレンジリボンカップ（硬式テニス）	4月30日
東近江市民体育大会（硬式テニス）	5月14日
春季総合体育大会ブロック大会（中体連ソフトテニス）	5月18日・19日
東近江市春季選手権大会（ソフトテニス）	5月21日
関西女子硬式野球選手権大会	5月27日・28日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 NewTurmCUP（軟式野球）	6月　3日・4日・24日・25日
春 Fes 2023 Baseball Tournament	6月10日・11日・17日・18日
第16回東近江ダブルス大会（硬式テニス）	6月　4日
東近江市民体育大会（ソフトテニス）	6月11日
東近江市民体育大会ことう地区予選（ソフトボール）	6月11日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 2回生大会（軟式野球）	7月　1日・2日
第19回東近江カップ（硬式テニス）	7月　9日
夏季総合体育大会ブロック大会（中体連ソフトテニス）	7月21日～23日
市スポ少交流大会（ソフトテニス）	7月29日・30日
コトナリエサマーフェスタ2023	8月　5日～15日
第13回ジュニア選手権大会（硬式テニス）	8月　9日
第2回ドリームオールスターin 滋賀（学童女子野球）	8月11日
第34回日本少年野球滋賀大会	8月19日～21日

ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 SUMMER（軟式野球）	８月 24 日・25 日
市スポ少交流大会（軟式野球）	８月 26 日・27 日
中部日本都市対抗（軟式野球）	９月　３日
秋季近畿地区高等学校野球滋賀県大会	９月　９日～９月 23 日（６日間）
第 19 回重森スポーツ杯 MIX（硬式テニス）	９月 10 日
関西女子硬式野球リーグ戦	９月 24 日・30 日・10 月１日
第 19 回王座戦（硬式テニス）	10 月　１日
東近江市民体育大会（軟式野球）	10 月 15 日・22 日
東近江市会長杯（ソフトテニス）	10 月 15 日
秋季総合体育大会ブロック大会（中体連ソフトテニス）	10 月 20 日～22 日
秋 Fes 2023 Baseball Tournament	10 月 28 日・29 日
関西女子硬式野球リーグ戦	10 月１日・21 日
ひばりドーム杯（硬式テニス）	10 月 29 日
滋賀建機杯少年軟式野球大会	11 月　４日・５日・18 日
第 19 回東近江市秋季ダブルス大会（硬式テニス）	11 月　５日
青少年市民育成会議湖東支部ほのぼの広場	11 月 12 日
秋 Fes 2023 Baseball Tournament サークル限定大会	11 月 11 日・12 日
東近江市軟式野球連盟会長杯	11 月 19 日
第 15 回東近江スーパーカップ（硬式テニス）	11 月 19 日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 AUTUMN（軟式野球）	11 月 25 日・26 日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 1 回生大会（軟式野球）	12 月　２日・３日
第 19 回東近江市ウィンターシングルス大会（硬式テニス）	12 月　３日
第 19 回東近江市ウィンターダブルス大会（硬式テニス）	１月 14 日
東近江市インドア大会女子・壮年（ソフトテニス）	１月 21 日
第 19 回バレンタインミックス（硬式テニス）	２月 11 日
東近江市インドア大会男子（ソフトテニス）	２月 18 日
冬 Fes 2024 Baseball Tournament	３月　２日・３日

ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2024SPRING（軟式野球）	３月　７日・８日
第 19 回 New Mix（硬式テニス）	３月 24 日
東近江市オープン大会（ソフトテニス）	３月 31 日
国民スポーツ大会県予選（軟式野球）	３月 31 日

湖東体育館

第 12 回 SOUTHERN?ジュニア杯（バスケットボール）	５月 20 日
東近江市ディスコン大会	６月 18 日
第 13 回 SOUTHERN?ジュニア杯（バスケットボール）	６月 24 日
第 19 回東近江市ソフトバレーボール大会	７月　９日
第 41 回 SOUTHERN?杯（バスケットボール）	７月 22 日
県民体育大会（剣道）	８月　５日・６日
第 42 回 SOUTHERN?杯（バスケットボール）	９月 16 日
外村杯バレーボール大会	10 月　１日
第 14 回 SOUTHERN?ジュニア杯（バスケットボール）	11 月 25 日
ことうふるさとまつり	11 月　２日・３日
東近江市民体育大会（バスケットボール）	11 月 29 日
東近江杯ソフトバレーボール大会	12 月 10 日
第 43 回 SOUTHERN?杯（バスケットボール）	１月 21 日
第 15 回 SOUTHERN?ジュニア杯（バスケットボール）	２月　３日
第 44 回 SOUTHERN?杯（バスケットボール）	２月 23 日
ことう地区スポーツ協会ビーチボール大会	３月　３日

すこやかの杜運動公園

春 Fes 2023 Baseball Tournament ２回生大会	５月 13 日・14 日
東近江市民体育大会（硬式テニス）	５月 14 日
フルサトドットコム野球大会 2023 E-SUMMER 1st（軟式野球）	５月 27 日・28 日
第 16 回東近江ダブルス大会（硬式テニス）	６月　４日
春 Fes 2023 Baseball Tournament サークル限定大会	６月 10 日・11 日

春 Fes 2023 Baseball Tournament	６月 17 日・18 日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 ２回生大会（軟式野球）	７月　１日・２日
第 19 回東近江カップ（硬式テニス）	７月　９日
東近江市民体育大会南部地区予選（軟式野球）	７月 23 日
第 34 回日本少年野球滋賀大会	８月 19 日・20 日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 SUMMER（軟式野球）	８月 24 日・25 日
第 19 回重森スポーツ杯 MIX（硬式テニス）	９月 10 日
第 69 回全日本総合男子ソフトボール選手権大会練習会場	９月 14 日・15 日
フルサトドットコム野球大会 2023 AUTUMN 1st（軟式野球）	９月 16 日・17 日
第 19 回王座戦（硬式テニス）	10 月　１日
秋 Fes 2023 Baseball Tournament	10 月 28 日・29 日
フルサトドットコム野球大会 2023 AUTUMN 2nd（軟式野球）	11 月　４日・５日
第 19 回東近江市秋季ダブルス大会（硬式テニス）	11 月　５日
秋 Fes 2023 Baseball Tournament サークル限定大会	11 月 11 日・12 日
フルサトドットコム野球大会 2023 AUTUMN 4th （軟式野球）	11 月 18 日・19 日
第 15 回東近江スーパーカップ（硬式テニス）	11 月 19 日
第 17 回マザーレイク杯野球大会	11 月 23 日・25 日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 AUTUMN（軟式野球）	11 月 26 日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2023 1 回生大会（軟式野球）	12 月　２日・３日
第 19 回東近江市ウィンターシングルス大会（硬式テニス）	12 月　３日
第 19 回バレンタインミックス（硬式テニス）	２月 11 日
第 19 回 New Mix（硬式テニス）	３月 24 日
冬 Fes 2024 Baseball Tournament	３月　２日・３日
ATHLEAD FIELD BASEBALL FESTA 2024SPRING（軟式野球）	３月　７日・８日
フルサトドットコム野球大会 2024 SPRING （軟式野球）	３月 16 日・17 日

ふれあい運動公園

滋賀県自転車競技連盟　自転車競技大会	７月　２日

東近江市総合防災訓練	９月　３日
能登川ふれあいフェア	１０月１５日
東近江市民体育大会（グラウンドゴルフ）	１０月２１日
能登川南学区体育振興会グラウンドゴルフ大会	１１月１２日

蒲生運動公園・蒲生体育館

東近江市スポーツ少年団　オレンジリボンカップ　バレーボール大会	４月２９日
蒲生地区スポーツ協会ソフトボール大会	５月２１日
滋賀県シニアバドミントン連盟　年齢別バドミントン大会	５月２８日
全日本シニアバドミントン選手権大会	６月２５日
ジューワベースボールフェスタ２０２３	５月・６月・９月・１１月・３月
ATHLEAD FIEDL BASEBALL2023	７月・１２月
ＡＬＬＷＩＮ	５月・６月・１０月・１１月
蒲生地区スポーツ協会屋内スポーツ大会	６月１３日
滋賀県小学生バドミントン連盟　第２３回ダイハツ全国 ABC バドミントン大会	６月１１日
蒲生地区スポーツ協会　屋内スポーツ大会	７月　２日
蒲生あかね夏まつり	７月１５日
日本ソフトボール協会第６９回全日本総合男子ソフトボール選手権大会練習会場	９月１４日から１９日
東近江市剣道連盟　県道優勝大会	１０月　７日
東近江市スポーツ協会　市民体育大会　卓球	１０月１５日
バレーボール	１０月２２日
タグラグビー	１１月１２日
コミスポ八日市　秋季東近江市バトミントン大会	１０月２１日
蒲生地区スポーツフェスティバル	１０月　８日
蒲生地区スポーツ協会カローリング大会	１２月１０日
東近江市市長杯少年サッカー大会	３月　２日・　３日

おくのの運動公園

東近江市軟式野球連盟	４月　２日・　９日・１６日・２３日・３０日

湖東リトルシニア硬式野球大会	４月　８日・22 日
東近江市軟式野球連盟	５月　６日・　７日・14 日・27 日
滋賀リトル野球大会	５月　３日・　４日
湖東地区中学軟式野球大会	５月 18 日・19 日・20 日・21 日
愛東スポーツクラブビーチボール大会	５月 21 日
小学生バレーボール連盟	５月　７日・28 日
ALLWIN 軟式野球大会	５月 28 日
愛東スポーツ協会	５月 28 日
東近江市軟式野球連盟	６月　４日・11 日・18 日・25 日
アスリード軟式野球大会	６月　３日
愛東スポーツクラブビーチボール大会	６月 11 日
シューワ軟式野球大会	６月 17 日
リトルシニア滋賀硬式野球大会	６月 24 日
アスリード軟式野球大会	７月　１日
東近江市軟式野球連盟	７月　２日・　９日・16 日・23 日・30 日
湖東リトル滋賀リトルシニア硬式野球大会	７月　８日・15 日・22 日・30 日
東近江市軟式野球連盟	８月　６日・20 日・27 日
湖東リトルシニア硬式野球大会	８月 11 日
プライドジャパン軟式野球大会	８月 21 日
東近江市軟式野球連盟	８月　７日・28 日
近江ボーイズ	８月 19 日
愛東スポーツクラブグラウンドゴルフ大会	８月 19 日
アスリード軟式野球大会	８月 24 日・25 日
湖東リトル滋賀リトル硬式野球大会	９月　３日・18 日・23 日
東近江市軟式野球連盟	９月　３日・10 日・17 日・24 日
近江の国合戦小学生バレーボール大会	９月　９日・10 日
シューワ軟式野球大会	９月 16 日

愛東スポーツクラブディスコン大会	９月　３日
愛東スポーツクラブディスコン大会	10月　１日
東近江市軟式野球連盟	10月　１日・　８日・２９日
愛東スポーツ協会スポーツフェステバル	10月　８日
湖東地区中学軟式野球大会	10月14日・15日
東近江市市民体育大会（軟式野球）	10月15日・22日
湖東地区中学軟式野球大会	10月20日・21日
愛東スポーツクラブフットサル大会	10月29日
東近江市軟式野球連盟	11月12日・19日・26日
ジューワ軟式野球大会	11月　４日
事業団自主事業（ソフトバレーボール大会）	11月　５日
ALLWIN 軟式野球大会	11月11日
愛東スポーツクラブビーチボール大会	11月12日
湖東リトルシニア硬式野球大会	11月18日
リトルシニア滋賀硬式野球大会	11月23日・25日
リトルシニア滋賀硬式野球大会	３月　３日・　９日
湖東リトルシニア硬式野球大会	３月23日・31日
東近江市軟式野球連盟	３月10日・17日・24日
アスリード軟式野球大会	３月　７日・　８日
ジューワ軟式野球大会	３月16日

オ　その他

ひばり公園

(ｱ)　コトナリエサマーフェスタ 2023 への協力

実行委員会をはじめ、関係団体と連携し、円滑に開催できるよう全面的に協力

(ｲ)　東近江市「家族ふれあいサンデー」事業への協力

①パークゴルフ場

②ひばりドームテニスコート
③屋外テニスコート

湖東体育館

(ｱ)　マーチングバンド見学会開催
一般市民が全国レベルの練習風景を観覧することにより、吹奏楽の魅力を身近に感じていただく。

ふれあい運動公園

(ｱ)　家族ふれあいサンデーの取り組み
毎月第３日曜日にパターゴルフを市内の子ども連れ家族に開放します。

(ｲ)　能登川地区ふれあいフェア（10 月 15 日）開催における施設協力

蒲生体育館

地域の自治会活動における行事で、テント・机・椅子・レクリエーション備品等の貸出を行います。また、地域の学校施設（朝桜中学校・蒲生東・西・北小学校）の体育館、運動場等の利用における支援や協力を行います。

おくのの運動公園

(ｱ)　遊歩道の無料開放
１周 2,000 メートルのコースに健康づくり案内パネルを掲示し、いつでも誰でもランニングやノルディックウォーキングで健康づくりに取り組める環境を整備します。
春秋の枯葉の除去、冬季には市道から遊歩道までの除雪を行います。

(ｲ)　子ども広場を芝生化し、ボール遊びやキャッチボール等に無料開放していきます。

(ｳ)　多目的広場の芝生化でグラウンドゴルフ、サッカー、フットサル競技の普及活動に支援や協力を行います。

(ｴ)　６月～８月多目的広場周囲のコナラ・ブナの樹木をクワガタ、カブトムシ捕りに開放します。

(ｵ)　地域で希望される方に、夏・冬は伐採した樹木の薪、冬季には枯葉を提供します。

(3)　それに付随する事業

ア　企画戦略会議
公益財団法人東近江市地域振興事業団文化スポーツ推進事業の実施計画を策定し、法人の基幹事業として実施できる体制づくりを行います。

(ｱ)　スポーツ事業検討委員会の開催

(ｲ)　事業団管理施設の紹介及び開催事業・講座等を掲載と各施設活動のサークル団体の紹介を掲載した情報ガイド発行します。

(ｳ)　保険年金課との連携による健康づくりのための取組

①　保険年金課委託事業の国民健康保険運動教室を管理施設で開催します。

②　保健センター主催の健康診断結果説明会（お返し会）でインボディ測定を実施し、市民の健康づくりの支援を行います。

(ｴ)　こども応援事業

こども応援事業として事業団が管理する施設で体験教室を開催します。

(ｵ)　第 25 回東近江ダンスフェスティバル

ダンス等を発表する機会の提供とゲストや出演者による交流を図ります。開催場所　あかね文化ホール

イ　公益目的での施設貸与事業

市民の方に広く利用いただくために、ホームページや公共施設予約システム上において施設情報及び申込み方法を公開し、より多くの方に利用の機会が広く平等に行きわたるよう、定められた受付期間、期日を遵守し、公平、公正で平等な利用の確保を行っています。定期・継続的な利用団体であっても、団体の意向を聴取しながら、公共性に鑑み日程調整を行うことでより公平な利用確保に努めています。さらに、施設を訪れるすべての利用者に、予約なしで受講できる教室の設定や、当法人のすべての管理施設で開催される講座及びサークル活動の一覧により、生涯学習の啓蒙と振興を図っていきます。

また、各施設においては、施設内の日常的な清掃・器具や備品の整理整頓、安全確認、定期点検を行い、経費節減を考慮した効率的な施設維持管理事業を行うとともに、消防法や電気事業に基づく法定点検をはじめ自動ドアや冷暖房機の設備点検等、専門的知識や技術を必要とする施設設備点検業務については専門業者に委託して実施しています。さらに、個人情報保護規程による個人情報の取得・利用・管理を行うとともに、安全面においては、緊急時には誰もが自動対外徐細動器（ＡＥＤ）を使用した心肺蘇生法ができる環境と職員教育を行い、安全安心な施設管理に努めながら施設の善良な管理者の注意をもって維持管理事業を行います。

収益事業（市民生活と都市景観の向上を図る事業及び施設貸与事業）

１　市民生活と都市景観の向上を図る事業及びそれに付随する事業

本事業は、東近江市各課（後述業務欄参照）からの依頼作業からなっており、年間を通じて、あるいはその都度直接に委託される業務です。

広域にわたる東近江市の作業現場を維持管理するために、活動拠点を３つ（①能登川地区、五個荘地区、八日市地区北部②八日市地区中部・東部、湖東地区、愛東地区、永源寺地区、③蒲生地区、八日市地区西部）に分割し、それぞれの拠点で東近江市の依頼に対し、迅速かつ柔軟に対応できる体制をとっています。

東近江市からの委託業務は、緊密な協力と信頼関係を要する業務であり、年々高度な技術を必要とする依頼も増加傾向にあります。それらに対応すべく、人材の育成や機材・用具の使用技術向上を図ります。

令和 5 年度においても、土木知識を有した職員を多く採用することで、環境管理に対する専門技術をもった集団として、広く認められることにより、新規公共事業委託の獲得及び事業拡大に繋げます。

道路課関連業務

（1） 道路のパトロール及びアスファルト合材による補修を主とした業務
（2） 側溝やガードレール等道路に関連した設備や施設の軽度の修理
（3） 路肩や緑地帯の除草及び清掃並びに街路樹の剪定業務
（4） きぬがさトンネルの維持管理業務
（5） 融雪剤の設置及び回収業務
（6） 担当課が実施、若しくは外注する業務の補助（資材・廃材の搬送、人員の補充等）

管理課関連業務

（1） 吸込池や市有地の除草、雑木伐採、設備や施設の軽度の修理
（2） 自治会や各支所が地域の道路や公共の施設の修繕に必要な、山砂や砕石、アスファルト合材等の資材の運搬業務
（3） 担当課が実施、若しくは外注する業務の補助（資材・廃材の搬送、人員の補充等）

都市整備部関連業務

（1） 指定される公園、児童遊園、緑地等の管理
（2） 自治会管理の遊具の点検業務

生活環境課関連業務

布引霊苑の維持管理業務

農村整備課関連業務

（1）　吉田井スクリーン清掃管理業務
（2）　瓜生川水門、ゴミ搬出業務

その他、不定期に受託する業務

上記以外の、東近江市や市が監督し公共的業務を行う団体からの依頼による、東近江市関連施設の除草、清掃、剪定、雑木伐採、ゴミの搬出、及び軽易な修繕等の業務

２　施設貸与事業及びそれに付随する事業

（1）　施設貸与事業

すこやかの杜運動公園

愛知川河川敷に近い緑に囲まれた自然環境豊かなスポーツ施設として定着し、市内はもちろん、近年は市外・県外からも多種多様な競技で来園される運動公園ですので、更なる周知に力を注ぎ利用拡大に向けた取組みや快適に利用していただけるよう良好な維持管理や安全対策の徹底に力を注いだ施設管理を目指します。

ア　施設貸出業務

早期予約の対象である市、市スポーツ協会、市スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ開催の主要大会など、年間事業等を把握するとともに、利用者への最新情報やサービスの提供をホームページやひばり公園窓口で行います。

イ　施設管理業務

当施設の敷地内に事務所を構える環境管理課との連携を引続き努め、安全・安心な施設の維持管理を行います。

ふれあい運動公園

愛知川河川敷きに広がる東近江市随一の広大な平地面積を有する施設であり、その広大さを利用したイベントとして昨年度に引き続き「能登川ふれあいフェア」や「自転車競技大会」を誘致するとともに、能登川総合スポーツクラブのグラウンドゴルフ活動地を提供する等、より多くの市民に当公園を利用していただけるよう努めます。安全で安心な施設提供はもとより、施設美化整備を心掛けることで、利用者が何度も訪れたくなる施設管理を実施します。

能登川水車とカヌーランド

公園を訪れられた皆様に、開放感のあるすばらしい芝生広場と自然景観を提供できるよう施設の整備に一層力を入れて参ります。鯉のエサ販売や遊具の貸し出し等で、家族の憩いの場としても満足いただけるよう努めます。

２０２５年予定の国民スポーツ大会カヌー競技の開催会場として施設整備が実施されるなか、来園者に安全で快適な環境を提供できるよう努めます。

（2）　公益目的事業以外での施設貸与事業

各施設の運営事業は、東近江市条例の施設設置目的に基づき実施していますが、東近江市の公共施設であることから、市の住民健診、確定申告相談会、選挙投票会場等当法人の公益目的事業以外での施設貸与も行っています。

また、体育施設をスポーツ以外に利用する場合には、使用料に差を設け公益目的事業を優遇しながら施設貸与事業を行っています。

令和５年３月 27 日

公益財団法人　東近江市地域振興事業団

理事長　　森野　才治

令和５年度　公益財団法人東近江市地域振興事業団　損益予算書

令和５年４月１日から令和６年３月31日まで　（単位：円）

科　　目	公益目的事業会計 公１	収益事業等会計 収１	法人会計	合計
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
１．経常増減の部				
（１）経常収益				
基本財産運用益	5,000	0	5,000	10,000
基本財産受取利息	5,000	0	5,000	10,000
特定資産運用益	0	0	20,000	20,000
特定資産受取利息	0	0	20,000	20,000
事業収益	20,430,500	2,567,500	0	22,998,000
文化体育事業収益	13,773,000	0	0	13,773,000
使用料収益	6,657,500	2,567,500	0	9,225,000
受取受託金	6,843,000	76,563,000	0	83,406,000
受取受託金	6,843,000	76,563,000	0	83,406,000
受取指定管理料	248,874,038	96,511,962	0	345,386,000
受取指定管理料	248,874,038	96,511,962	0	345,386,000
受取補助金	4,700,000	0	0	4,700,000
受取補助金	4,700,000	0	0	4,700,000
雑収益	2,440,000	673,000	10,000	3,123,000
雑収益	2,440,000	673,000	10,000	3,123,000
経常収益計	283,292,538	176,315,462	35,000	459,643,000
（２）経常費用				
事業費	384,482,425	104,806,869		489,289,293
役員報酬	2,263,800	844,200		3,108,000
給料手当	169,473,381	43,723,064		213,196,445
退職引当金（中退共掛け金）	9,268,000	2,224,320		11,492,320
福利厚生費	27,864,144	7,141,946		35,006,090
会議費	383,328	98,252		481,580
旅費交通費	378,000	0		378,000
通信運搬費	2,190,672	561,498		2,752,170
消耗什器備品費	2,359,368	604,737		2,964,105
消耗品費	9,623,592	2,466,653		12,090,245
修繕料	4,413,024	1,131,116		5,544,140
印刷製本費	3,134,000	6,000		3,140,000
燃料費	8,782,488	2,251,067		11,033,555
光熱水料費	31,384,584	8,044,281		39,428,865
賃借料	9,207,000	2,359,875		11,566,875
保険料	2,368,080	606,970		2,975,050
諸謝金	13,174,000	50,000		13,224,000
租税公課	27,891,864	7,149,051		35,040,915
負担金支出	506,088	129,717		635,805
委託費	54,266,000	18,234,000		72,500,000
役務費	3,319,000	357,000		3,676,000
原材料費	1,266,000	5,883,000		7,149,000
雑費	76,000	712,000		788,000
減価償却費	890,012	228,122		1,118,133
管理費			6,814,459	6,814,459
役員報酬			1,447,000	1,447,000
給料手当			1,094,555	1,094,555
退職引当金（中退共掛け金）			92,680	92,680
福利厚生費			175,910	175,910
交際費			60,000	60,000
会議費			2,420	2,420
旅費交通費			118,000	118,000
通信運搬費			13,830	13,830
消耗什器備品費			14,895	14,895
消耗品費			60,755	60,755
修繕料			27,860	27,860
印刷製本費			33,000	33,000
燃料費			55,445	55,445
光熱水料費			198,135	198,135
賃借料			58,125	58,125
保険料			14,950	14,950
諸謝金			40,000	40,000
租税公課			176,085	176,085
負担金支出			3,195	3,195
委託費			1,418,000	1,418,000
役務費			1,694,000	1,694,000
原材料費			0	0
雑費			5,000	5,000
補償補填及び賠償金			5,000	5,000
減価償却費			5,619	5,619
経常費用計	384,482,425	104,806,869	6,814,459	496,103,752
評価損益等調整前当期経常増	△ 101,189,887	71,508,593	△ 6,779,459	△ 36,460,752
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 101,189,887	71,508,593	△ 6,779,459	△ 36,460,752
２．経常外増減の部				
（１）経常外収益	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0
（２）経常外費用	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 101,189,887	71,508,593	△ 6,779,459	△ 36,460,752

令和４年度

決　算　報　告　書

公益財団法人
東近江市地域振興事業団

◎公益目的事業（市民福祉の増進及び教育・文化・スポーツの振興に関する事業）

（１）　伝統文化の保存継承と芸術の振興を図る事業及びそれに付随する事業

ア　世界凧博物館東近江大凧会館（伝統文化の保存継承事業）

世界凧博物館東近江大凧会館では、伝統文化の保存継承事業として次の事業を行いました。

(ｱ)　基本的博物館機能（博物館資料の活用）

①　東近江大凧を中心とした凧に関する資料の収集、展示及び保存

日本の凧 44 点収集

②　東近江大凧を中心とした凧に関する資料の調査研究

(ｲ)　展示会の開催

①　「鯉の凧展」

開催期間　4月 14 日（木）から5月8日（日）まで

開催期間中の入館者数　289 人

②　聖徳太子関係の展示

(1)　聖徳太子が描かれた凧を展示

開催期間　4月 28 日（木）から7月 10 日（日）まで

(2)　近江聖徳太子霊跡御朱印の連凧を展示

開催期間　5月 16 日（月）から7月 10 日（日）まで

(3)　聖徳太子が浮かび上がる竹灯籠 26 作品を展示

開催期間　6月9日（木）から7月 10 日（日）まで

開催期間中の入館者数　1,029 人

③　夏休み特別企画「妖怪が描かれた凧」

開催期間　7月 14 日（木）から8月 28 日（日）まで

開催期間中の入館者数　948 人

④　～聖徳太子～こども遊彩画展

開催期間　9月 29 日（木）から 10 月 23 日（日）まで

開催期間中の入館者数　983 人

⑤　日本の凧シリーズ　北信越

開催期間　10 月 27 日（木）から 11 月 27 日（日）まで

開催期間中の入館者数　648 人

⑥　クリスマスの凧展

開催期間　12 月1日（木）から 12 月 25 日（日）まで

開催期間中の入館者数　483 人

⑦　新春特別企画「兎の凧と郷土玩具展」

開催期間　1月3日（火）から1月22日（日）まで

開催期間中の入館者数　890人

⑧　鬼の凧展

開催期間　1月26日（木）から2月12日（日）まで

開催期間中の入館者数　605人

⑨　福よせ雛

開催期間　2月17日（金）から4月23日（日）まで

開催期間中の入館者数　1,013人（3月31日まで）

(ｳ)　体験教室の開催

①　コマ作り

開催日　5月1日（日）

1回目　1人、2回目　0人、3回目　2人、4回目　2人

②　親子凧作り教室～聖徳太子の凧を作ろう～

開催日　5月8日（日）

1回目　2人、2回目　1人

③　疫病退散　赤べこの絵付け教室

開催日　6月26日（日）

1回目　10人、2回目　10人、3回目　10人

④　バランストンボ作り

開催日　7月24日（日）

1回目　9人、2回目　12人

⑤　夏休み親子凧作り教室-カブトムシの凧を作ろう-

開催日　7月31日（日）

1回目　11人、2回目　12人

開催日　8月21日（日）

1回目　12人、2回目　12人

⑥　コマ作り

開催日　7月30日（土）

1回目　11人、2回目　10人

⑦　けん玉作り

開催日　7月30日（土）

1回目　12人、2回目　11人

⑧　ペットボトルでボルト&ナット

開催日　8月6日（土）

1回目　7人、2回目　10人

⑨　～兎（うさぎ）の凧絵～ガリ版年賀状作り

開催日　12月11日（日）　13人

⑩　親子凧作り教室-空を飛ぶサンタクロースの凧を作ろう-

開催日　12月17日（土）

１回目　11人、２回目　６人

⑪　干支「兎（うさぎ）」の親子凧作り教室

開催日　12月25日（日）

１回目　14人、２回目　14人

⑫　兎の張り子　絵付け教室

開催日　１月９日（月）

１回目　13人、２回目　９人

⑬　近江ダルマ作り　絵付け教室

開催日　１月15日（日）　９人

⑭　凧作りコーナーの設置、市内外からの依頼に応じた凧作り指導

・館内凧作りコーナーの設置

・東近江大凧作りの指導（東近江大凧保存会と連携）

・その他、角凧作り、連凧作り等凧作り一般の指導、助言等

(ｴ)　機関紙の発行及びホームページ・ブログの運営

①　大凧便りの発行（毎月１回）　第191号～第202号　850部印刷

②　ホームページの運用　http://oodako.net/

トータルアクセス数　135,384件（３月31日現在）

③　ブログの運用　http://oodakomuseum.shiga-saku.net/

トータルアクセス数　519,241件（３月31日現在）

(ｵ)　東近江大凧のミニチュア、凧作りキットの販売

①　土産用東近江大凧・絵葉書等を、地元の業者や観光協会等と委託販売契約により販売

②　子どもたちに「もの作りの大切さ」を知ることを目的とした凧作り製作キットの販売

(ｶ)　東近江大凧の保存継承団体である「東近江大凧保存会」への支援

東近江市の地域文化であり、国の無形民俗文化財にも選択されている「東近江大凧」の将来の担い手となる子ども達に、その製作と飛揚技術を伝授するプロジェクトとして『チャレンジ“大凧”2020』を平成19年度から東近江大凧保存会が開催され、令和４年度については３年ぶりの開催となりました。

(ｷ)　凧の学習に関する教育活動の支援

小学校の総合学習として来館があります。地域文化「東近江大凧」及び凧の世界の学習の場として、学校教育と計画的に連携をとり、小学生用リーフレットを用いて見学学習を行いました。

(ｸ)　東近江大凧まつりの企画運営

平成 27 年の東近江大凧まつりで 100 畳敷大凧の落下による事故が発生しました。東近江大凧会館は東近江大凧まつりと密接な関係にありますので、今後の市の動向を注視し、まつり運営に参画できるよう活動していきます。

(ｹ)　来館者増加への方策

東近江市への来訪者を増加させるために、東近江市内外の観光施設・文化施設と連携ポスターの発行や情報交換、ＰＲチラシの配布等を図ってきました。

また、旅行会社へのダイレクトメールによるＰＲと県内小学校へ見学の呼びかけも行いました。

イ　八日市文化芸術会館（文化、芸術の向上及び振興事業）
あかね文化ホール（　　〃　　）

東近江市の文化芸術振興のために八日市文化芸術会館とあかね文化ホールが連携を図りながら、両館それぞれの特性が最大限発揮されるよう、劇場、音楽堂等の活性化に関する法律の趣旨に沿って、市内全域を対象とした幅広い事業を展開しました。特に、東近江創作ミュージカル 2022 では、「令和４年度地域の文化芸術活動助成事業」で 110 万円、「令和 4 年度芸術文化振興基金（文化会館公演）」で 100 万円、合計 210 万円の補助金を受けました。当事業団で初の市民参加型ミュージカルの制作を行い、地域市民文化の振興に貢献しました。また、「宝くじ文化公演事業」の助成を受けて「シエナウインドオーケストラ」による公演、東近江市から、1,000 万円の補助金を受けて全国的に有名なアーティストによる公演を３公演行いました。

事業内容については、次のとおりです。

(ｱ)　舞台芸術の魅力を身近に体験体感し明日への活力につながるプログラム

時代の要請に応えながら、市民の心を和ませ勇気と生きる希望を与える文化芸術の拠点として、市民の芸術活動の活性化につながるよう、プロアーティストによる実演芸術を紹介する鑑賞事業を開催しました。

八日市文化芸術会館事業

舞台芸術の魅力を身近に体験体感し明日への活力につながるプログラム

①　近江創作ミュージカル 2022　日出ずる国　厩戸皇子（製作期間 4 月～９月）

舞台芸術の創造事業として、自主制作事業東近江創作ミュージカルを４月から一般出演者、一般スタッフと一緒に当館スタッフを主として制作を開始し、９月に公演を開催しました。東近江市に深く関わりのある聖徳太子の伝承を題材とし、東近江市を発信することを視野に入れ制作しました。本番公演は大きな反響がありました。

脚本･演出　中村暁(宝塚歌劇団演出家)
振付　　小川珠絵(舞踊家･舞踊演出作家)
音楽　　達人 tatsuto(作曲家)
４月 10 日（日）オーディション 出演者 25 名、スタッフ 20 名
４月 16 日（土）オリエンテーション、歌稽古
以後毎週土曜、日曜を稽古日として活動
本番公演９月３日（土）・９月４日（日）　４公演入場者合計 1,598 人

② 東近江市創作ミュージカル 2022　竜王公演参加
竜王町の依頼を受け、ミュージカル日出ずる国厩戸皇子のダイジェスト版を、竜王観音禅寺、真氣神社で延べ３回の公演をしました.
２月 23 日（木）・３月 26 日（日）　観劇者数約 300 人

③ シエナウインドオーケストラ with 青島広志（宝くじ文化公演事業）
公演料に助成を受けて青島広志が指揮を務めるプロの吹奏楽団によるクラッシックコンサートを開催しました。10 月 10 日（月）入場者 585 人

④ SHISHAMO ワンマンツアー2022 秋
「NICE TO MEET YOUr town！！！～10 年目の初上陸～」
（令和４年度市文化芸術活動再開支援事業）
紅白歌合戦に出場し 10 代から 30 代に人気のあるアーティスト「SHISHAMO」によるコンサートを開催しました。
10 月 23 日（日）入場者　591 人

⑤ 森山直太朗 20ｔｈアニバーサリーツアー素晴らしい世界
（令和４年度市文化芸術活動再開支援事業）
全国的に有名なアーティスト森山直太朗によるコンサートを開催し、幅広い年齢層にご来館いただきました。３月 11 日（土）入場者 722 人

⑥ クロワッサンサーカスショー　ＢＩＷＡＫＯツアー2022
（文化庁アートキャラバン事業）
滋賀県内の他ホールと協力し、当館でサーカスの公演を開催しました。
11 月 23 日（水）　入場者 706 人

⑦ ＮＨＫのど自慢（共催）ゲスト三山ひろし、ｍｉｗａ
歴史のある人気番組ＮＨＫのど自慢の呼び込み、公演の実施に協力し共催しました。
4月２日（土）予選 180 組　４月３日（日）本選 18 組　観覧 289 人

⑧ T.M.R LIVE REVOLUTION'21-VOTE-（共催）
滋賀県出身の人気バンドＴ.M.REVOLUTION の一部制作、公演の実施に協力し共催しました。５月 17 日（火）524 人、５月 18 日（水）624 人
入場者合計 1,148 人

⑨　びわこＪＡＺＺ東近江 2022（共催）

ストリート音楽イベント、びわこＪＡＺＺ東近江 2022 の一部制作に協力し、八日市文化芸術会館での公演を共催しました。

８月 14 日（日）250 人

⑩　組踊　特別鑑賞会（制作協力）

沖縄の伝統芸能であり、重要無形文化財「組踊」（沖縄県補助事業）の公演を行うに当たり制作に協力しました。11 月 13 日（日）入場者　430 人

(ｲ)　子どもたちのための芸術文化プロジェクト

（次世代へつなぐ文化芸術普及事業）

将来の東近江の芸術文化活動を担う子どもたちに、アプローチとなる事業を実施しました。

八日市文化芸術会館事業

①　しまじろうとうみのだいぼうけん

（令和４年度市文化芸術活動再開支援事業）

Benesse の人気キャラクターしまじろうによるミュージカル公演を開催。２回公演で多くのファミリー層にご来館いただきました。

１月 21 日（土）　１回目 463 人、２回目 341 人、入場者合計 804 人

あかね文化ホール

①「龍谷大学吹奏楽部ブラスコンサート」

全国屈指の吹奏楽団龍谷大学のブラスバンドの演奏会を開催しました。

４月３０日（土）　入場者 390 人

②「あかねこども太鼓フェス」

東近江地域のジュニア太鼓の合同演奏会を開催し、ゲスト演奏や出演者による合同演奏で交流を図りました。５月２２日（日）入場者 235 人

③「ガチャピン・ムックのサーカスエコロジカル」

ガチャピン・ムックが地球温暖化を防ぐため、江古田博士とともに立ち上がるサイエンスショーとサーカスが融合した新感覚舞台作品を提供しました。７月２４日（日）１回目 176 人、２回目 166 人、入場者合計 342 人

④　「人形劇団ひとみ座」ふしぎ駄菓子屋銭天堂

子どもたちに大人気の本「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」を舞台化した作品。幸福なお客様だけが辿りつける不思議な駄菓子屋の物語を提供しました。会場は八日市文化芸術会館で開催。

８月 11 日（木）１回目 590 人、　２回目 314 人、入場者合計 904 人

(ｳ)　アートギャラリープロジェクト（展示事業）

アートに出会える企画制作を行う事業

八日市文化芸術会館事業

① 企画展 Know Arts vol.4

作家の日程調整結果、次年度へ延期となりました。

② （企画展関連事業）企画展 Know Arts3.5 画家の視点で描いてみる

東近江市出身の望月恵氏を講師に迎え、望月氏と野口謙蔵氏の作品鑑賞を行い、ワークショップとして参加者に絵を描いてもらいました。

6月26日（日） 会場 野口謙蔵記念館 参加11人

(エ) 人材育成事業

八日市文化芸術会館事業

① ステージトレーニング

コロナ禍の中で練習する場所がない方に向け、閑散期のホール利用促進も兼ねて、ステージで音楽の練習をしていただけるように実施しました。

3月14日（火）から3月16日（木）まで

利用人数150人 （八日市高校吹奏楽部）

② ホール探検隊

ホール探検隊を開催し、市民の皆様に文化ホールについて知ってもらう機会を提供しました。7月31日（日） 参加者30人

③ びわこ学院大学ゼミ発表会

大学連携事業の一環として、びわこ学院大学ゼミ発表会をホールで実施し、大学の音楽教育の内容を一般市民に公開する事業として実施しました。

1月9日（月） 入場者50人

④ 避難訓練コンサート

市民とともに安全で安心なホールづくりを目指す目的で、コンサート中に地震や火事が起きたことを想定し、避難訓練を行うコンサートを実施しました。2月26日（日） 入場者284人 演奏者90人

(オ) その他協力事業等

東近江市文化団体連合会・東近江市芸術祭実行委員会等の主催事業では、協力して発表会をサポートしました。

八日市文化芸術会館事業

① 東近江市民大学 7月5日、10月26日、11月15日

② 東近江市文化団体連合会 展示発表

・12月7日から12日10日まで 第17回文化展

③ 東近江市芸術文化祭実行委員会 芸能発表 展示発表

・10月1日から15日、11月29日から12月1日 第18回東近江市美術展覧会

④　後援

・6月１９日 Dan’s　Studio　BAN　第２８回発表会

あかね文化ホール

①　東近江市芸術文化祭実行委員会　芸能発表

・11 月 23 日 芸能フェスティバル

②　後援

・11 月 27 日 はもりベコンサート

(カ)　芸術文化に関する情報の発信事業

チケット販売をオンライン化したことから、オンラインチケット会員制度を構築し、新たな発信事業を展開しました。オンラインチケット登録者へ事業情報提供などのサービスを行いました。オンラインチケットはクレジット決済も取り入れ、会館ホームページから 24 時間購入を可能とするなど、支払い方法も含め利用者の利便性を格段に向上させました。現在 2,100 人の登録があります。オンラインの周知と主催イベントやその他事業をホームページに掲載し、広くＰＲを図りました。

ホームページ　http://yokaichi-bungei.com/（八日市文化芸術会館）

http://akane-bunkahall.com/（あかね文化ホール）

ウ　それに付随する事業

公益目的での施設貸与事業

東近江市公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の規定に基づき、管理運営に関する基本協定を遵守し、円滑な運営・利用促進を図るとともに、伝統文化の保存継承を行う施設においては、学芸員や大凧保存会が作成方法等を指導しながら、学校・子ども会の凧づくり教室を開催するために施設貸与事業を行いました。

また、文化、芸術の向上及び振興事業を行う施設では、各種団体の発表会や講演会・芸術展等に施設貸与事業を行いました。市民交流の拠点であることを認識し、市民に広く利用いただくために、ホームページ上や施設独自の広報紙等において利用方法や空き状況を公開しました。なお、より多くの人に利用機会が広く平等に行きわたるよう、定められた受付期間や期日を遵守し、公平、公正な利用の確保を行いました。

（2）　市民福祉の推進と生涯教育の振興を図る事業及びそれに付随する事業

ア　勤労者総合福祉センターウェルネスハ日市（市民福祉の推進事業）

市民の皆様の健康増進や文化活動の促進を図るため、勤労者総合福祉センターウェルネスハ日市では各種講座を開催しました。安心・安全に受講していただけるよう感染予防対策（自動手指消毒器等設置・飛沫対策用透明シートやアクリル板設置・利用定員の削減・消毒液設置等）を行い、年間 28 講座開催しました。

令和４年度から講座の申込みはパソコンやスマートフォンからの 24 時間オンライン申込みを開始したところ、181 人 69%が利用されました。窓口での申込みは 81 人 31%となりました。

受講者は市内外の様々な地域から参加され、講師を中心に講座をとおして交流を深めながら熱心に学ばれました。カラダらくらくヨガ及び健康卓球は国民健康保険運動教室としてウェルネス講座とは別に各６回開催しました。

㈠　教養講座（ウェルネス講座）

・文化教養講座

茶道講座　年 28 回、水墨画講座　年 22 回、フラワーアレンジ講座　年 18 回、ビーズアクセサリー講座　年 18 回、実用書道・ペン字（昼の部）講座　年 20 回、実用書道・ペン字（夜の部）講座　年 20 回、筆ペン・ボールペン字講座　年 20 回、パッチワーク初級講座　年 18 回、パッチワーク中級講座　年 18 回、つまみ細工前期講座　年５回、つまみ細工後期講座　年５回

・キャリアアップ講座

英会話講座（初級）　年 24 回、英会話講座（上級）　年 24 回、ＦＰ（ファイナンシャルプランナー）３級講座　年 12 回、ＦＰ（ファイナンシャルプランナー）２級講座　年 12 回、ライフ＆マネー講座　年７回、資産運用入門講座　年６回

・健康づくり、スポーツ講座

リフレッシュヨガ A/B 講座　年 28 回、体に優しいカラダらくらくヨガ講座　年 21 回、中高年のための健康卓球講座　年 23 回、健康太極拳講座　年 28 回、ウォーキングエクササイズ講座　年 17 回、優しいベリーダンス講座　年 21 回

・ワンコイン健康運動講座

事前申込不要で自由に参加できる「ワンコイン講座」（受講料 500 円/１回）の４講座は毎回多くの方に参加していただきました。

有酸素運動とヨガで健康に水曜講座　年 12 回、有酸素運動とヨガで健康に金曜講座　年 12 回、簡単楽しく動くリズム体操講座　年９回、凜軸～りんじく～骨盤調整エクササイズ講座　年 12 回

・共催特別講座

東近江市人権・男女共同参画課主催・ウェルネス八日市共催の特別講座として家事・育児と仕事を両立させながら、自分らしい暮らしや働き方ができるよう女性の活躍を応援するための講座を開催しました。

女性のためのきらめき☆セミナー　全４回

(ｲ)　展示ギャラリー

館内の情報コーナーを活用した「展示ギャラリー」を 10 月 10 日から３月 17 日までの期間で開催しました。ウェルネス講座受講生や講師の作品をはじめ、ウェルネス八日市で活動されているサークルの作品を順番に展示しました。

期間中展示ギャラリーをご覧いただいた方が応募できるお楽しみ抽選会を開催したところ、276 人の応募がありました。また、手作り作品市として受講生の作品を展示販売しました。

ウェルネス講座作品展示においては、他の方の作品を見ることで、講座や利用団体サークルの広報・交流活動を行いました。

展示内容　・ウェルネス講座受講生作品展示（ビーズアクセサリー／実用書道ペン字／ボールペン字／フラワーアレンジ／つまみ細工／水墨画／パッチワーク）・水彩画サークル（彩クラブ）作品展示

(ｳ)　サークル支援事業

勤労者総合福祉センターでは、講座終了後に受講生仲間がサークルとして貸館利用していただく活動を支援してきました。ビーズアクセサリー・ベリーダンスについては、サークルとしても１年間活動されました。

ウェルネス講座は、初心者の導入講座としても毎年開催しますが、学習・継続意欲が定着した後は、サークル活動へ誘導し貸館事業の展開へつなげていきます。

イ　生涯学習センター機能的事業（生涯教育の振興を図る事業）

各スポーツ施設（　　〃　　）

(ｱ)　生涯学習講座の開催と展開

生涯学習センター機能的事業の名称「ライフロング」が市内に定着し、学びの機会提供を着実に広げました。４箇所（八日市文化芸術会館、蒲生、湖東、能登川の各コミュニティセンター）の拠点会場から市内全域へと生涯学習が広がるよう展開しました。

昨年度から導入した 24 時間オンラインによる申込みシステムをグレードアップさせ、新たなシステムによる講座申込みとし、年間で 148 講座を開講しました。オンライン申込みの利用者登録は、目標の 1,000 人を超え 1,211 人が登録されました。全体の 90%以上がオンラインによる申込みで、窓口申込

みは数%程度とオンラインが定着しました。
　また、新システムはメール機能もあることから、申込者との連絡をオンラインで行い、今年度もコロナ禍により中止とした講座はありましたが、感染防止対策を行い、影響を最小限に抑えるよう努めました。

　八日市文化芸術会館では、新規講座「三絃講座」、「ライアー(竪琴)講座」、「MC講座」などステージにつながる講座や「イラスト講座」、「カリンバ講座」などを加えました。講座数を厳選したことから、定員に達する講座が増加しました。また、「三線」、「カホン」、「サンポーニャ」の各講座をサークル化しました。
　蒲生コミュニティセンターでは、需要が高い「パン教室」、「陶芸入門」を新規講座として加え、夏休みこども教室関係も充実しました。「夏休み木工」、「夏休みお菓子」、「夏休みパン」、「小学生プログラミング」などが定員となりました。「リズム体操」、「有酸素運動とヨガ」など当日受付講座はコロナ禍の影響が続いていますが、一定数の方々に受講していただきました。
　湖東コミュニティセンターは講座数が多く、受講者確保に努めました。こどもの感性を育む講座として、こども春期、夏期講座を５講座ずつ新たに設定するほか、「キャンドル」、「アーティフィシャルフラワー」、「アイシングクッキー」なども新たに加え 59 講座を開催しました。この会場でも募集の半数以上に当たる 33 講座が定員締め切りとなりました。
　能登川コミュニティセンターでは、新規講座「介護を考えてみよう」、「動画投稿コース」、「夏・冬のクラフト」などを加え開講しました。コミュニティセンターとは良好な協力関係を築いており、大学連携巡回講演の会場としても協力いただきました。コミュニティセンターからは講座増設の希望もあり、今後も継続していけるよう努めていきます。
　若者講座では、若者層が参加してもらえるよう「キャンプ・アウトドア編」、「ドローン体験編」など５講座を企画し、市内全域に向けて行うことから会場を分散して設定しましたが、申込数が伸びず開講は３講座となりました。
　昨年度に続き、観光協会事業への参加として「ちいさなたびいち 2022」に「カリンバを弾いてみよう」のプログラムで参加しました。
　今後も市内にバランスよく学習機会を提供できるように努めます。

・ライフロング受講生作品展
　第 8 回ライフロング受講生作品展を八日市文化芸術会館において、2月 10 日から 12 日までの３日間開催し、32 講座の受講生作品 480 点を集めました。同時にライフロングの特徴を活かし、講座体験コーナー（カリンバ演奏、イラスト、クレイクラフト）を実施しました。３日間で延べ 303 人

の来場者がありました。

・クリスマスコンサート

クリスマスコンサートを12月18日に開催しました。フォークギター（2コース）、ライアー、大道芸、キッズストリートダンス、タップダンス、MC講座、自主活動サークルからウクレレ、カホン、サンポーニャ、三線の 11グループによる公演は、受講生のステージ発表の貴重な場となりました。プログラム最後のコーナーでは、八日市文化芸術会館の制作したミュージカルのテーマ曲「大好き東おうみ」の演奏などで楽しみました。入場者308人。

・コミュニティセンター職員研修

年間４回開催される生涯学習課のコミュニティセンター職員研修のうち２回の企画依頼があり、講座企画の考え方などをライフロング講座の講師を招き、体験を交えて学んでいただけるよう研修を行いました。

１回目　７月12日「介護を考えるCLUE　CARD」　８館12人参加

２回目　８月26日「マクラメ編み体験」　９館13人参加

コミュニティセンター職員が講座を企画する際の参考にしていただくことができました。

・大学連携巡回講演及び市内コミュニティセンターとの連携

随時、講座や講師情報を提供することで連携協力を図りました。大学連携巡回講演は年間５回開催しました。五個荘、能登川、湖東、蒲生、市辺の各コミュニティセンターと共催、協力連携し、びわこ学院大学、滋賀県立大学、リハビリテーション専門職大学の先生を迎え巡回講演とすることで、コミュニティセンターを通じて市民に大学の学びを提供する機会としました。

各拠点会場の開講講座

年間を通じて148講座開催、延べ受講申込者数3,470人、受講料収入合計7,952,400円、延べ講座開催回数859回、延べ参加者数10,067人でした。

①　未来へつながる子育て講座

湖東コミュニティセンター

・親子でクッキング　２回

・こどもとたのしく英会話　10回

蒲生コミュニティセンター

・親子で楽しくリトミック(未就園0～3歳児)　年間12回当日参加

②　子どもの感性をみがく講座

八日市文化芸術会館

・チャレンジネイチャーキッズ　・チャレンジサイエンスキッズ　各３回

湖東コミュニティセンター

・リトミック教室　11 回
・春期、夏期こども講座(ｸﾚｲｸﾗﾌﾄ・お茶・木工・ｸﾗﾌﾄ・布花)　各５回
・キッズストリートダンス　　21 回
・ＡＢＣ教室（幼児ｸﾗｽ・小学生３ｸﾗｽ）各 34 回

蒲生コミュニティセンター

・親子で楽しくリトミック（3～5 歳児親子）　11 回（中止１回）
・夏休みお菓子教室（中止）　・夏休みパン教室　１回
・夏休み天文教室　　１回　　・冬休み天文教室（中止）
・夏休み木工教室　２回
・小学生、中学生プログラミング　各３回

能登川コミュニティセンター会場

・夏のクラフト、春のクラフト講座（親子）　各１回

③　現代社会と地域の課題即応講座

八日市文化芸術会館

・介護を考えてみよう　１回

湖東コミュニティセンター

・異文化交流はじめまして韓国語・たのしい韓国語初級　各 20 回
・楽しく脳トレ英会話　　20 回

能登川コミュニティセンター会場

・介護を考えてみよう　１回

そ の 他

・大学連携講座～人生 100 年時代 フレイル予防
　びわこ学院大学、滋賀県立大学、びわこリハビリテーション専門職大学連携協力（五個荘、能登川、湖東、蒲生、市辺コミュニティセンター）５回巡回講座

④　文化教養を高める講座

八日市文化芸術会館

・基礎から学ぶ書の講座　前期６回　後期６回

湖東コミュニティセンター

・絵画教室（初心者・アートコース）　各 12 回
・水墨画教室　　11 回
・陶芸教室　・写真教室　　各 12 回
・はじめてのお茶　　８回
・食文化～梅をつけよう梅しごと・大根の漬物づくり　各１回

蒲生コミュニティセンター

・絵手紙教室　10 回　・東近江の伝統料理を学ぶ　前後期各１回

・日本画を基礎から学ぶ教室　前後期各５回　・陶芸入門　前後期各５回
・文学の散歩道　前後期各５回　・歴史講座　前後期各５回

⑤　仲間作りと交流が生まれる講座

八日市文化芸術会館

・フォークギター入門編・演奏編　各 10 回　　ライアー講座　８回
・たのしいかんたんミニ鍵盤講座　10 回
・パステル画講座　12 回　・ゆる文字リラックス講座 前後期各４回
・カリンバを弾いてみよう　２回　　・かんたんイラスト講座　２回
・冬のナチュラルクラフト　１回

湖東コミュニティセンター

・パンとお菓子の教室Ａコース　　12 回
・パンとお菓子の教室Ｂ・Ｃコース　各5回
・たのしいクレイクラフト　　12 回
・かんたんな和菓子をつくろう　　６回
・がま口小物を作ろう・かぎ針編みとマクラメ雑貨　各８回
・はじめての刺繍　前後期各３回　・はじめての刺し子　前後期各３回
・はじめてのマクラメ編み　前後期各１回
・ｱｰﾃｨﾌｨｼｬﾙﾌﾗﾜｰ、ｱｲｼﾝｸﾞｸｯｷｰ、ｷｬﾝﾄﾞﾙ、ｽﾄﾘﾝｸﾞｱｰﾄ　各１回

蒲生コミュニティセンター

・大人のためのはじめてのピアノ　12 回
・はじめての坐禅教室　前期５回・後期６回
・パン教室　前後期各３回　・うたの花束　年間６回当日参加

能登川コミュニティセンター

・たのしいスケッチ講座　12 回　・お手軽パン教室　前後期各１回
・ゆる文字エンジョイ講座　前後期各３回
・ナチュラルガーランドをつくろう　１回

⑥　健康に過ごすためのいきいき講座

八日市文化芸術会館

・男のヨガと健康運動　　24 回
・頭とカラダ音楽 de いきいき講座　12 回
・ゆったりヨガ講座（午前の部・午後の部）　各 20 回
・たのしいミニ鍵講座　10 回

湖東コミュニティセンター

・はじめてのタップダンス　21 回
・韓国の家庭料理　　前後期各２回

蒲生コミュニティセンター

・リズム体操 22 回（中止２回）　・有酸素運動とヨガ 24 回

能登川コミュニティセンター

・薬膳料理　１回　・韓国キムチ　１回

・カラダがよろこぶ料理シリーズ　前後期各１回

⑦　技術習得で快適ライフ講座

八日市文化芸術会館

・大道芸パフォーマー講座　10 回

湖東コミュニティセンター

・はじめてのＤＩＹ　　前後期各３回

蒲生コミュニティセンター

・筆ペン教室　10 回　・ステンドグラス教室　５回

・プリザーブドフラワー　前後期各１回

・オンリーワンの革小物　前後期各１回

・プロから学ぶお菓子の世界　前後期各３回

能登川コミュニティセンター

・動画かんたん投稿コース　６回

⑧　舞台へつながる夢講座

八日市文化芸術会館会場

・ＭＣ講座　８回　・初めての和楽器～三絃を弾いてみよう　８回

・ミュージックサークル　３回

⑨　若者向け講座

・若者のための若者講座（スマホでインスタ映え写真編、パーソナルカラーとパーソナリティカラー編、ドローン体験編）　３回

⑩　地域に出かける巡回講座等

・大学連携巡回公演　５回

⑪　その他活動の発表等

成果発表として各地区文化祭への出展や発表の場に参加しました。

・湖　東　文化祭出展（11 月３日から 11 月６日まで）

ステージ発表(キッズストリートダンス・タップダンス)　絵画、水墨画、陶芸、写真、クレイクラフト、がま口小物、かぎ針編みとマクラメ雑貨、刺繍、刺し子、DIY、ストリングアート、キャンドル、アーティフィシャルフラワー

・蒲　生　文化祭出展（11 月４日から 11 月６日まで）

絵手紙、筆ペン、日本画、ステンドグラス他

・能登川　文化祭出展（11 月５日から 11 月６日まで）

たのしいスケッチ講座　ゆる文字エンジョイ講座

能登川コミュニティセンターロビーショーケース展示

たのしいスケッチ講座　ゆる文字エンジョイ講座

上記のとおり年間を通じて、各会場で全市に向けた生涯学習の機会提供を行いました。多くの受講生が市内各地区から参加され、交流を深めながら熱心に学ばれました。

受講者の募集は、チラシの作成と配布、ケーブルテレビの番組や文字放送、地域新聞、情報紙等を利用し、市内全域へのＰＲに努めました。募集チラシは春、秋に発行（全戸配布）し、市内全域にＰＲしました。

(ｲ) 各種事業の情報収集と発信

生涯学習センター機能的事業

① 生涯学習だより広報「ライフロング」発行

各種講座の紹介及び募集チラシを発行し情報提供に努めました。

② ホームページからの情報発信

オンライン申込を導入したことによって、ホームページを見て受講申込みされる人が増加しました。

③ 市関係その他の情報媒体からの情報発信

市広報に毎月講座募集情報を掲載し、ケーブルテレビでは、２箇月に１回、５分間のライフロングコーナーで情報提供を継続しました。

④ 意見集約

講座開催中や開催後に、アンケートによる意見の収集を図りました。また受講生と対話をする中で意見や要望を聞き、次の講座への参考としました。

(ｳ) 各種サークル・団体の支援

生涯学習センター機能的事業

今年度から、三線、カホン、サンポーニャが自主活動へ移行され、ウクレレサークルを含め、それぞれクリスマスコンサートに出演していただきました。受講生作品展では、サークル活動となったスケッチ同好会や花結びサークルも出展いただきました。また、サークル活動を継続しているハンドベルサークルから MC 講座受講生へ依頼があり、発表会の MC を担当する機会を設けることができました。今後も主催する講座の中から自主的に活動できるサークルが増え、市内の文化活動が活性化するよう努めます。

(ｴ) 生涯スポーツの推進事業

長山公園

ふれあいソフトテニス教室

ソフトテニスの基本を身に付け、ソフトテニスの楽しさを体感していただ

くことはもとより、ふれあいや健康づくり、体力づくりを図る教室を行いました。

期　間：5月22日（日）から7月24日（日）まで（全10回）

時　間：午前9時から午前10時30分まで

受講者：Ａコース6人

湖東体育館

ジュニアバスケットボール教室

湖東体育館の利用者で滋賀銀行バスケットボール部ＯＧの方に講師を依頼し、小学１年生から４年生を対象に教室を開催しました。

期間は２月から３月までで合計５回、受講者16人（延べ66人）、受講料48,000円でした。

すこやかの杜運動公園

ジュニアサッカー教室

東近江市スポーツ少年団の指導をされている方に講師を依頼し、小学校低学年を対象に教室を開講しました。

期間は８月から11月までで合計10回、受講者14人（延べ125人）、受講料84,000円でした。

ひばり公園

①　硬式テニス教室

健康や体力向上を図るとともに、テニスの基本動作・技術などの習得を目的に年間通じて４期、曜日・レベル別に７クラスの教室を開講しました。

初心者・初級コース４クラス、中級コース３クラス、春・夏・秋・冬６～10回×４期、定員各10人で開講しました。

受講者数は160人（延べ1,236人）、受講料1,414,900円でした。

②　健康教室（ストレッチヨガ教室、椅子ヨガ教室、かんたん健康体操教室）

空き時間の有効活用で健康増進、肩凝りや腰痛予防、ストレス解消の場として各教室年間６期開講しました。

ストレッチヨガ教室は、年間６期・全42回、受講者数は41人（延べ256人）、受講料229,600円でした。

椅子ヨガ教室は、年間６期・全42回、受講者数は38人（延べ223人）、受講料212,800円でした。

かんたん健康体操教室は、年間６期・全42回、受講者数は30人（延べ196人）、受講料164,000円でした。

(ｵ)　共催・後援事業等の開催

ひばり公園

東近江市の委託事業として、国民健康保険加入者対象の「美温活リンパス

トレッチ」をみすまの館で開催しました。計６回、受講者数延べ 49 人、受講料 19,000 円でした。

また、「健康づくり体操教室」は、開講人数に満たなかったため中止しました。

蒲生体育館

東近江市の委託事業として、国民健康保険加入者対象の「かんたん健康教室」を体育館で開講しました。各６回、延べ 49 人の受講がありました。

おくのの運動公園

東近江市の委託事業として、国民健康保険加入者対象の「ノルデックウォーク教室」を子ども広場、築山で開催いたしました。計６回、延べ 48 人の受講がありました。

(カ) 総合型地域スポーツクラブやサークル活動の支援事業

蒲生体育館

総合型あかねスポーツクラブの活動においては、昨年に引き続き企画や運営等、積極的な支援を進めていく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、活動自体が自粛されました。

おくのの運動公園

あいとうスポーツクラブと連携を図り、スポーツの普及と発展に努められるよう以下の事業開催に協力しました。

５月 22 日、10 月 30 日	あいとうフットサル大会
９月４日	あいとう卓球大会
10 月１日	あいとうディスコン大会

(キ) アンケートの実施

施設利用者や教室受講生を対象としたアンケートの実施

アンケートを実施し、生涯スポーツの振興に対する達成度を評価するため、次年度に向けスポーツ事業検討委員会による生涯スポーツ振興の方策を検討し検証を行いました。

(ク) スポーツ大会、競技会等の主催事業

長山公園

① 第 47 回東近江市民早朝親睦野球大会

５月から10月にかけて第47回東近江市民早朝親睦野球大会に４チーム、延べ 819 人の参加がありました。アストロウズが優勝されました。

② 第 18 回東近江市民ソフトボール大会

９月４日（日）の第 18 回東近江市民ソフトボール大会では、シニア＆男女混合の部 10 チーム計 214 人の参加があり、シニア＆男女混合の部は、Ａゾーン湖東シニアーズ、Ｂゾーン市辺シニアレッドが優勝しました。

ひばり公園

① 第７回東近江女子野球交流戦

女子野球を通じて競技の歓びを経験する機会を広く提供するとともに、参加者相互の仲間意識と連帯を高め、女子野球の普及に寄与することを目的として開催しました。

開催日：３月５日（日）

時　間：午前８時 30 分から午後５時まで

入場料：無料

参加者：７チーム 150 人

第１試合

京都ｼｬｲﾆﾝｸﾞ ｳﾞｨｰﾅｽ【14】　対　【０】滋賀 F1 ﾌﾞﾚｲｸｽﾙｰ+岐阜ｶﾞｰﾙｽﾞ

キッズチアパフォーマンス「ＰＩＥＣＥ」

第２試合

福井工業大学付属福井高等学校【１】　対　【５】京都両洋高校

第３試合

東海ネクサス【２】　対　【６】東近江バイオレッツ

② ひばりドーム杯 2022 硬式テニス大会

東近江市内スポーツ活動の拠点となるひばり公園施設の利用拡大とともに大会を契機に幅広いテニス愛好者の増加に努め、地域住民の体力増進を図ることを目的として、開催しました。

開催日：11 月 27 日（日）

時　間：午前８時 30 分から午後５時まで

場　所：ひばりドーム（屋内２面）、屋外テニスコート（４面）

参加料：１団体 3,000 円×10 チーム 41 人（うちチーム５人棄権）

結　果：男子団体Ａ優勝　はんぎょどんさん

男子団体Ｂ優勝　TT テニスＢ

男女混合優勝　HTC

蒲生体育館・蒲生運動公園

① マーチングバンドリハーサル見学会

東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部マーチングバンド（東京都）の蒲生体育館利用に併せ、本物のマーチングバンドを広く市民の方々に見て体験していただくリハーサルイベントを実施しました。

市内中学校、高等学校等の吹奏楽部をはじめ、市民の方々に全国トップレベルのマーチングバンドを見学していただくことができました。

日　時：11 月 19 日（土）11 時から正午まで

対象者：市内外を問わず見学自由

演奏者：東海大学付属高輪台高等学校吹奏楽部　100 人

見学者：135 人

② 第 17 回東近江市バドミントン交流大会

生涯スポーツであるバドミントン競技を通じて、健康づくりや参加者同士の親睦を深めることを目的とし開催しました。

日　時：2月11日（土）9時から16時まで

対　象：東近江市在住及び在勤する者、若しくは主催者が認めた団体

定　員：団体混合ダブルス 24 チーム

参加チーム：13 チーム 81 人

参加料：1 チーム　8,000 円　合計 104,000 円

おくのの運動公園

① 第 11 回おくののソフトバレーボール大会

日　時：11 月６日（日）８時～19 時

対　象：市内外関係なくソフトバレー愛好者で編成する男女混合チーム

募　集：さくらの部 わかばの部 もみじの部 各 12 チーム

計 36 チーム 合計１６０人

参加料：１チーム 2,000 円　合計 72,000 円

(ｹ) スポーツ大会、競技会等の貸館開催事業

ひばり公園

① 令和４年度春季近畿地区高校野球滋賀県大会を4月 9 日から 30 日まで開催。利用人数　5,206 人

おくのの運動公園

① 野球場

東近江市軟式野球連盟成年 C 級大会（4 月 17 日、5 月 22 日、28 日、6 月5日、11 月６日）、東近江市軟式野球連盟中部日本都市対抗（7 月　17 日、24 日）、東近江市軟式野球連盟近畿地区都市２部（9月4日）、東近江市軟式野球連盟近畿春季 B 級（10月2日）、東近江市民体育大会軟式野球（10 月 16 日）、東近江市スポーツ少年団学童軟式野球（9 月 10 日、11 日）、湖東リトルシニア硬式野球大会（7 月９日、8 月６日、9 月３日）近江ボーイズ滋賀大会（8 月 20日）、リトルシニア滋賀ブロック（10 月 22 日）、プライドジャパン軟式野球大会（8 月 21 日）、アスリード軟式野球大会（8 月 25 日、26 日、3 月９日、10 日）、ALLWIN 軟式野球大会（6 月 11 日、25 日、11 月 12 日、12 月３日、4 日、3 月４日）ジューワー軟式野球大会（9 月 17 日、11 月 19 日）

② グラウンド

愛東 JFC スポ少サッカー大会（6 月４日）、永源寺 JFC サッカー大会（6

月 19 日)、東近江市商工会運動会（9月 19 日)、東近江市民体育大会軟式野球(10 月 16 日 23 日)、中体連湖東ブロック軟式野球大会（10 月 14 日、15 日）

③　体育館

八日市バレーボールクラブスポ少交流試合(4 月 2 日､3 日､9 月 10 日、11 日)、能登川南バレーボールスポ少交流試合（4 月 9 日、10 日)、昇心塾空手大会（5 月 15 日)、東近江青年会議所運動会（5 月 22 日)、BLUE SPIRITS ドッジボール大会（6 月 12 日)、排球クラブ OHMI バレーボールスポ少交流試合（7 月 3 日)、FANATIC バトミントン大会（8 月 10 日、21 日)、東近江ソフトバレーボール連盟交流大会（10 月 2 日)、かすが保育園運動会（10 月 8 日)、ドリームマスターソフトバレーボール大会（1 月 15 日)、東近江ソフトバレーボール連盟交流大会（2 月 23 日）

(ｺ)　その他

ひばり公園

①　コトナリエサマーフェスタ 2022 への協力

新型コロナウイルス感染症拡大防止（三密を回避）するため、ステージイベントを制限するなど規模を縮小し、イルミネーション見学のみ実施となりました。

開催期間：8月6日から8月 15 日まで（19 時から 21 時まで）

②　家族ふれあいサンデー

毎月第3日曜日の「家族ふれあいサンデー」では親子を対象としてパークゴルフ場を開放しました。ひばりドーム・屋外テニスコートについては当日の空き時間帯を1時間無料で貸出しました。

蒲生体育館・蒲生運動公園

地区スポーツ協会や各種競技団体と連携を図り、必要な施設整備を行いました。また、地域活動における、テント・机・椅子・レクリエーション備品等の貸出を行いました。

おくのの運動公園

①　遊歩道の提供

1 周 1,700mのコースを設け、健康づくり案内パネルを掲示して、いつでもだれでもランニング、ウォーキング、ノルディックウォーキングコースで健康づくりができる施設環境を整備しました。開園日には職員等でコース巡回や子供広場、築山の芝刈り等を実施して、景観・美化の良好な維持管理に努めました。利用者に安心・安全に利用していただけるよう環境を整えるとともに、春に桜の見学や秋の紅葉、銀杏拾いに施設を開放しました。

②　備品、ニュースポーツ用具の貸出し

市民のスポーツをはじめとする様々な地域活動を支援するため、テント・机・椅子・レクリエーション備品等の貸出しを行いました。

③　多目的広場の芝生化によりフットサル２面が使用できるよう冬芝を植え、日常管理に努めました。

④　子供広場の芝生を４月から 10 月まで雑草防除を行い、ボール遊びやキャッチボール等に無料開放しました。開放に伴い安全確保のため、遊具の点検と塗装を行いました。

⑤　７月、８月に多目的広場周囲のコナラの樹木でクワガタ、カブトムシ等の昆虫採集に開放しました。

⑥　地域住民の希望者の方へ、夏・冬には伐採した樹木の薪や秋過ぎには枯葉の腐葉土を提供しました。

⑦　県防災ヘリの離着陸の訓練場として多目的広場を提供しました。

⑧　春と秋には農業用水路の清掃作業に協力しました。

⑨　新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として「三つの密」、感染リスクの高まる場面は回避していただくとともに、「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」、「各施設前にアルコールを設置」、「手洗いなどの手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の徹底をしました。

ふれあい運動公園

①　びわ湖・東近江夏休み熱気球体験搭乗会への協力

開催期間：７月 23 日から８月３日まで

参加実績　1,691 名

②　能登川ふれあいフェアへの協力

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、出店希望団体数やイベント告知範囲の規制を行うことによりイベント規模を縮小し実施されました。

開催期間：10 月 16 日

参加実績　約 20,000 人

③　家族ふれあいサンデー

毎月第３日曜日の「家族ふれあいサンデー」では親子を対象としてパターゴルフ場を開放しました。

ウ　それに付随する事業

㈠　企画戦略会議の活動

公益財団法人東近江市地域振興事業団体制強化を図るとともに、法人の目的である明るく住みよい連帯感あふれる地域社会の形成に寄与するため、「企画戦略会議」を令和３年度に設置しました。

主な取組みとしては、スポーツ事業検討委員会の開催、生涯学習・生涯スポ

ーツ情報ガイドの発行、保険年金課、長寿福祉課との連携による健康づくりのための事業実施、東近江ダンスフェスティバルの開催、新規事業企画提案があげられます。

令和４年度は、企画戦略会議を 12 回開催し、事業団名及び活動内容の周知をテーマに、ロゴマークを入れたバッジを作成し、４月に全職員へ配布・装着を実施しました。また、事業団名が印刷されたのぼり旗をインボディ計測時に掲揚し、市民への知名度向上を図りました。

① スポーツ事業検討委員会　７月 22 日（金）

東近江市ひばり公園大会議室において、６名の外部委員を迎え、令和３年度のスポーツ事業報告及び令和４年度スポーツ事業計画を発表し、内容を協議いただきました。

② 情報ガイドの発行

４月に「情報ガイド春号」を 2,000 部、11 月に「情報ガイド秋号」を 1,500 部作成し、東近江市役所及び各支所、市内 14 コミュニティセンター、図書館、保健センター、その他８公共施設、市内企業、事業団管理施設へ配布しました。

講座の案内をはじめ、事業団管理施設の概要、事業団の生涯学習・文化・生涯スポーツ情報が一目でわかる情報誌の発行ができました。

③ 保険年金課との連携による健康づくりのための取組み

今年度の東近江市健康診査結果相談会は、事前予約制となりましたが、合計 345 人の体成分測定（インボディ測定）を実施しました。筋力や体脂肪率についての測定結果を担当職員が説明し、運動による体成分の数値改善にスポーツ教室等の参加を呼び掛けました。

また、日常運動に接する機会の少ない年齢層に、運動のきっかけづくりとして、東近江市委託事業の国民健康保険運動教室を開催し、運動に興味をもっていただき、ライフサイクルの一部となるよう保険年金課との連携による健康づくりに取組みました。

④ 長寿福祉課との連携による健康づくりのための取組み

長寿福祉課が開催する体操教室においてインボディ測定を行い、合計 335 人の体成分測定と、データの収集を行いました。

⑤ 第 24 回東近江ダンスフェスティバル

２月 19 日にあかね文化ホールで開催しました。63 チーム 611 人の出演者、観覧者含め延べ 1,000 名の参加がありました。

⑴　公益目的事業での施設貸与事業

市民の方に広く利用いただくために、ホームページ上において利用方法や利用料金を公開し、より多くの方に利用の機会が広く平等に行きわたるよう、定められた受付期間、期日を遵守し、公平、公正で平等な利用の確保を行いました。定期・継続的な利用団体であっても、団体の意向を聴取しながら、公共性に鑑み日程調整を行うことでより公平な利用確保に努めました。さらに、施設を訪れるすべての利用者に、予約なしで受講できる教室の設定や、当法人のすべての管理施設で開催される講座及びサークル活動の一覧によって、職員による生涯学習の啓蒙と振興を図りました。

また、各施設においては、施設内の日常的な清掃・器具や備品の整理整頓、安全確認、定期点検を行い、経費節減を考慮した効率的な施設維持管理事業を行うとともに、消防法や電気事業に基づく法定点検をはじめ自動ドアや冷暖房機の設備点検等、専門的知識や技術を必要とする施設設備点検業務については専門業者に委託して実施しました。さらに、個人情報保護規程による個人情報の取得・利用・管理を行うとともに、安全面においては、緊急時いつでも誰でも（ＡＥＤ自動体外式徐細動器）を使用した心肺蘇生法ができる環境と職員教育を行い、安全安心な施設管理に努めながら施設貸与に取り組みました。

（３）　組織運営業務（総務課）

総務課は、市関係各課との事務調整をしつつ、市民サービスが低下しないよう各管理施設との連携を密にしながら業務を推進してきました。

庶務関係では、事業団雇用職員の人事庶務関係等の業務、指定管理施設の管理者として業務を推進してきました。

総務課の主要な業務

⑴　事業団の運営（理事会・評議員会）に関する業務

⑵　事業団職員の人事に関する業務

⑶　事業団の職員研修に関する業務

⑷　事業団の財産管理及び財務に関する業務

⑸　各施設との連絡調整に関する業務

⑹　事業団の庶務及び総括経理に関する業務

◎収益事業（市民生活と都市景観の向上を図る事業及び施設貸与事業）

（１）　市民生活と都市景観の向上を図る事業及びそれに付随する事業

ア　環境管理課（道路等の管理事業）

契約に基づく管理地及び依頼による作業地について、市内全域にわたる路肩の除草や清掃等の業務を、五個荘地区、蒲生地区、湖東地区の３箇所に拠点を置き、各々の担当が効率的かつ安全に行いました。

また、東近江市担当課との密接な連携のもと、市道等の路面や付属設備についても損傷箇所の早期修繕に努め、適正な道路施設の維持に努めました。

管理対象　東近江市内の市道及び自転車道（受託路線に限る）、調整池、水路、その他別に作業を依頼された指定外の市有地

主な業務　パトロール及び路面・路肩のアスファルト合材による軽補修、除草、清掃、浚渫、道路付属施設（ガードレール・側溝等）の軽易な修理

イ　緑地管理事業

市が管理する都市公園、墓地公園及び児童公園ならびに街路樹等の植樹帯の一部について、市との連携により適切な管理を行い、街の景観維持と安全確保に努めました。

布引山霊苑については、盆や彼岸など参拝者が多い時期の剪定にも配慮し、環境美化と景観維持に努め、年間を通じて良好な墓苑環境となるよう管理しました。

管理対象・・東近江市内の公園、ポケットパーク、市道緑地帯等（受託場所に限る。）

主な業務・・除草、清掃、剪定、付属施設（遊具、便所、水道設備、柵、その他建造物）の軽易な修理業務

ウ　地域活性化事業

地域活性化の一環として、東近江市内の自治会からの要請に基づき、里道の補修等に必要な、山砂、砕石、合材、生コン等の資材の搬入を行いました。

また、支障木の伐採、側溝の清掃といった自治会からの要望についても、市担当課の依頼に基づいて対応しました。

さらに、自治会からの申し出を受けて、事業団が管理する施設の樹木の剪定や道路法面の除草等の作業を委託することで協働のまちづくりに寄与しました。

エ　その他　東近江市から受託した業務

①　吉田井スクリーン清掃管理業務

②　瓜生川水門、ゴミ搬出業務

③　融雪剤の配布及び回収業務

④　道の駅「奥永源寺渓流の里」ゴミ搬出業務
⑤　五個荘日吉町市有地の除草、剪定
⑥　自治会が管理する児童遊園の遊具の点検 333 箇所
⑦　きぬがさ街道及びトンネルの各設備・装置の点検と維持管理業務
⑧　その他東近江市から受託する小規模の修繕、除草、伐採など

（2）　施設貸与事業及びそれに付随する事業

ア　施設貸与事業

すこやかの杜運動公園

自然環境に恵まれたスポーツ施設として年間多くの人にご利用いただきました。特に昨今のテニスブームやグループでのフットサルなどが人気で、専用コートとしてより一層安心・安全に利用できる施設を目指しました。

能登川水車とカヌーランド

自然景観のすばらしさを実感していただける施設を目指し、主に芝生広場の管理清掃及び周辺の植込み剪定等美化に努めました。また、屋外トイレについても定期清掃により清潔維持に努めました。

管理に付随する施設として、カヌーの館、水車の郷公園についても除草作業等により、適正に管理しました。

大水車は回転軸の老朽化に伴う故障のため現在も停止中ですが、回転防止策及び侵入禁止ロープの安全対策により、事故防止に努めました。

7月 17 日には、第 17 回東近江市ドラゴンカヌー大会が 26 チームの参加で開催され、約 900 人に来園いただきました。

9月 25 日には、びわ湖・東近江 SEA TO SUMMIT が開催され、約 200 人に来園いただきました。

ふれあい運動公園

愛知川河川敷の自然豊かな施設特性を利用した大型イベントや、総合型スポーツクラブ主催のグラウンドゴルフ大会など、多くの市民に当公園を利用していただきました。安全で安心な施設提供はもとより、施設美化、整備を心掛けることで、利用者が何度も訪れたくなる施設管理を目指しました。

イ　公益目的事業以外での施設貸与事業

各施設の運営事業は、東近江市条例の施設設置目的に基づき実施しています。東近江市の公共施設であることから、市が実施される住民健診や確定申告相談会・選挙投票会場等、当法人の公益目的事業以外でも施設貸与を行いました。

また、スポーツ施設を設置目的以外で利用する場合、公益目的事業を優先しながら施設貸与事業を行いました。

令和４年度事業報告の附属明細

該当事項なし

令和４年度貸借対照表

令和 5年 3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　資産の部			
１．流動資産			
現金預金	118,175,525	78,024,013	40,151,512
未収金	14,220,720	9,770,836	4,449,884
流動資産合計	132,396,245	87,794,849	44,601,396
２．固定資産			
⑴ 基本財産			
基 本 財 産	50,000,000	50,000,000	0
基本財産合計	50,000,000	50,000,000	0
⑵ 特定資産			
退職給付引当金資産	38,735,407	46,777,722	△ 8,042,315
事業促進基金資産	145,562,946	145,534,470	28,476
特定資産合計	184,298,353	192,312,192	△ 8,013,839
⑶ その他固定資産			
車両運搬具	1	1	0
什器備品	3,523,641	3,420,108	103,533
ソフトウエア	1	1	0
その他固定資産合計	3,523,643	3,420,110	103,533
固定資産合計	237,821,996	245,732,302	△ 7,910,306
資産合計	370,218,241	333,527,151	36,691,090
Ⅱ　負債の部			
１．流動負債			
未払金	55,290,140	27,970,854	27,319,286
預り金	989,602	990,177	△ 575
未払消費税等	6,551,500	4,015,600	2,535,900
流動負債合計	62,831,242	32,976,631	29,854,611
２．固定負債			
退職給付引当金	38,735,407	46,777,722	△ 8,042,315
固定負債合計	38,735,407	46,777,722	△ 8,042,315
負債合計	101,566,649	79,754,353	21,812,296
Ⅲ　正味財産の部			
１．指定正味財産			
指定正味財産合計	50,000,000	50,000,000	0
（うち基本資産への充当額）	50,000,000	50,000,000	0
２．一般正味財産	218,651,592	203,772,798	14,878,794
（うち特定資産への充当額）	145,562,946	145,534,470	28,476
正味財産合計	268,651,592	253,772,798	14,878,794
負債及び正味財産合計	370,218,241	333,527,151	36,691,090

令和４年度貸借対照表内訳表

令和 5年 3月31日現在

（単位:円）

科　　目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法　人　会　計	合　　計
Ⅰ　資産の部				
１．流動資産				
現金預金	27,013,451	66,231,562	24,930,512	118,175,525
未収金	5,951,027	613,374	7,656,319	14,220,720
流動資産合計	32,964,478	66,844,936	32,586,831	132,396,245
２．固定資産				
⑴ 基本財産				
基本財産	25,000,000	0	25,000,000	50,000,000
基本財産合計	25,000,000	0	25,000,000	50,000,000
⑵ 特定資産				
退職給付引当資産	0	0	38,735,407	38,735,407
事業促進基金資産	0	0	145,562,946	145,562,946
特定資産合計	0	0	184,298,353	184,298,353
⑶ その他固定資産				
車両運搬具	1	0	0	1
什器備品	2,130,205	606,568	786,868	3,523,641
ソフトウェア	1	0	0	1
その他固定資産合計	2,130,207	606,568	786,868	3,523,643
固定資産合計	27,130,207	606,568	210,085,221	237,821,996
資産合計	60,094,685	67,451,504	242,672,052	370,218,241
Ⅱ　負債の部				
１．流動負債				
未払金	29,543,558	8,127,637	17,618,945	55,290,140
預り金	162,136	△ 14,065	841,531	989,602
未払消費税等	4,951,000	638,200	962,300	6,551,500
流動負債合計	34,656,694	8,751,772	19,422,776	62,831,242
２．固定負債				
退職給付引当金	0	0	38,735,407	38,735,407
固定負債合計	0	0	38,735,407	38,735,407
負債合計	34,656,694	8,751,772	58,158,183	101,566,649
Ⅲ　正味財産の部				
１．指定正味財産				
指定正味財産合計	25,000,000	0	25,000,000	50,000,000
（うち基本財産への充当額）	25,000,000	0	25,000,000	50,000,000
２．一般正味財産	437,991	58,699,732	159,513,869	218,651,592
（うち特定資産への充当額）	0	0	145,562,946	145,562,946
正味財産合計	25,437,991	58,699,732	184,513,869	268,651,592
負債及び正味財産合計	60,094,685	67,451,504	242,672,052	370,218,241

令和４年度正味財産増減計算書

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで
（単位:円）

科　　目	当年度	前年度	増　減
Ⅰ　一般正味財産増減の部			
1．経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	1,000	4,517	△ 3,517
基本財産受取利息	1,000	4,517	△ 3,517
特定資産運用益	37,629	67,602	△ 29,973
事業促進基金受取利息	28,476	51,965	△ 23,489
退職給付引当金受取利息	9,153	15,637	△ 6,484
事業収益	33,447,745	20,985,305	12,462,440
文化体育振興事業収益	14,897,160	13,577,490	1,319,670
使用料収益	18,550,585	7,407,815	11,142,770
受託事業収益	87,128,408	88,202,332	△ 1,073,924
受託事業収益	87,128,408	88,202,332	△ 1,073,924
受取指定管理料	365,857,800	341,792,000	24,065,800
受取指定管理料	365,857,800	341,792,000	24,065,800
受取負担金収入	15,826,498	15,883,964	△ 57,466
受取負担金	15,826,498	15,883,964	△ 57,466
受取補助金等	12,100,000	7,174,000	4,926,000
受取国庫補助金	0	6,970,000	△ 6,970,000
受取地方公共団体補助金	10,000,000	204,000	9,796,000
受取国庫助成金	1,000,000	0	1,000,000
受取地方公共団体助成金	1,100,000	0	1,100,000
雑収益	6,710,004	3,903,225	2,806,779
受取利息	2,497	2,171	326
雑収益	6,707,507	3,901,054	2,806,453
経常収益計	521,109,084	478,012,945	43,096,139
(2) 経常費用			
事業費	501,093,606	452,948,831	48,144,775
役員報酬	3,143,000	3,108,000	35,000
給料手当	229,102,417	225,590,376	3,512,041
退職給付費用	14,152,929	10,266,677	3,886,252
福利厚生費	31,992,722	32,090,069	△ 97,347
会議費	272,227	259,119	13,108
旅費交通費	225,767	99,980	125,787
通信運搬費	2,376,890	2,487,359	△ 110,469
減価償却費	1,035,106	988,362	46,744
消耗什器備品費	2,509,302	3,448,128	△ 938,826
消耗品費	11,646,652	10,383,154	1,263,498
修繕費	5,094,347	4,637,151	457,196
印刷製本費	2,592,647	1,622,957	969,690
燃料費	10,820,426	9,129,547	1,690,879
光熱水料費	40,071,528	30,132,590	9,938,938
賃借料	8,760,365	7,566,865	1,193,500
保険料	2,488,616	2,324,032	164,584
諸謝金	11,378,128	11,134,920	243,208
租税公課	32,899,185	29,208,469	3,690,716

科　　目	当年度	前年度	増　減
支払負担金	339,485	444,647	△ 105,162
委託費	80,064,241	59,119,471	20,944,770
役務費	3,403,096	2,172,154	1,230,942
原材料費	6,132,520	6,173,819	△ 41,299
雑費	592,010	560,985	31,025
管理費	5,136,682	5,213,992	△ 77,310
役員報酬	1,287,000	1,292,000	△ 5,000
給料手当	948,560	936,324	12,236
退職給付費用	111,240	79,899	31,341
福利厚生費	147,559	147,205	354
会議費	20,392	15,612	4,780
旅費交通費	1,133	23,680	△ 22,547
通信運搬費	10,456	10,850	△ 394
減価償却費	3,159	3,126	33
消耗什器備品費	12,259	16,371	△ 4,112
消耗品費	53,055	46,434	6,621
修繕費	22,791	21,040	1,751
印刷製本費	33,000	165,350	△ 132,350
燃料費	45,933	37,383	8,550
光熱水料費	199,842	149,899	49,943
賃借料	26,726	20,946	5,780
保険料	57,709	55,068	2,641
諸謝金	11,940	25,000	△ 13,060
租税公課	145,915	128,731	17,184
支払負担金	202,305	275,833	△ 73,528
委託費	531,251	475,102	56,149
役務費	1,261,864	1,174,445	87,419
雑費	2,593	113,694	△ 111,101
経常費用計	506,230,288	458,162,823	48,067,465
評価損益等調整前当期経常増減額	14,878,796	19,850,122	△ 4,971,326
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	14,878,796	19,850,122	△ 4,971,326
2．経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	1	△ 1
什器備品除却損	2	0	2
経常外費用計	2	1	1
当期経常外増減額	△ 2	△ 1	△ 1
当期一般正味財産増減額	14,878,794	19,850,121	△ 4,971,327
一般正味財産期首残高	203,772,798	183,922,677	19,850,121
一般正味財産期末残高	218,651,592	203,772,798	14,878,794
Ⅱ　指定正味財産増減の部	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	50,000,000	50,000,000	0
指定正味財産期末残高	50,000,000	50,000,000	0
Ⅲ　正味財産期末残高	268,651,592	253,772,798	14,878,794

令和４年度正味財産増減計算書内訳表

令和 4年 4月 1日から令和 5年 3月31日まで
（単位:円）

科　　目	公益目的事業会計 公　1	収益事業等会計 収　1	法人会計	合　計
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	500	0	500	1,000
基本財産受取利息	500	0	500	1,000
特定資産運用益	0	0	37,629	37,629
事業促進基金受取利息	0	0	28,476	28,476
退職給付引当金受取利息	0	0	9,153	9,153
事業収益	29,394,814	4,052,931	0	33,447,745
文化体育振興事業収益	14,813,160	84,000	0	14,897,160
使用料収益	14,581,654	3,968,931	0	18,550,585
受託事業収益	1,444,200	85,684,208	0	87,128,408
受託事業収益	1,444,200	85,684,208	0	87,128,408
受取指定管理料	275,807,953	90,049,847	0	365,857,800
受取指定管理料	275,807,953	90,049,847	0	365,857,800
受取負担金収入	7,913,249	7,913,249	0	15,826,498
受取負担金	7,913,249	7,913,249	0	15,826,498
受取補助金等	9,329,100	2,770,900	0	12,100,000
受取地方公共団体補助金	7,710,000	2,290,000	0	10,000,000
受取国庫助成金	771,000	229,000	0	1,000,000
受取地方公共団体助成金	848,100	251,900	0	1,100,000
雑収益	5,192,099	1,491,998	25,907	6,710,004
受取利息	72	0	2,425	2,497
雑収益	5,192,027	1,491,998	23,482	6,707,507
経常収益計	329,081,915	191,963,133	64,036	521,109,084
(2) 経常費用				
事業費	364,815,993	136,277,613	0	501,093,606
役員報酬	2,288,650	854,350	0	3,143,000
給料手当	157,855,369	71,247,048	0	229,102,417
退職給付費用	11,124,661	3,028,268	0	14,152,929
福利厚生費	23,374,574	8,618,148	0	31,992,722
会議費	216,693	55,534	0	272,227
旅費交通費	179,708	46,059	0	225,767
通信運搬費	1,657,164	719,726	0	2,376,890
減価償却費	785,048	250,058	0	1,035,106
消耗什器備品費	1,942,404	566,898	0	2,509,302
消耗品費	8,404,729	3,241,923	0	11,646,652
修繕費	3,610,594	1,483,753	0	5,094,347
印刷製本費	2,592,647	0	0	2,592,647
燃料費	7,276,573	3,543,853	0	10,820,426
光熱水料費	31,655,797	8,415,731	0	40,071,528
賃借料	4,234,218	4,526,147	0	8,760,365
保険料	1,580,282	908,334	0	2,488,616
諸謝金	11,328,128	50,000	0	11,378,128
租税公課	23,112,391	9,786,794	0	32,899,185
支払負担金	270,224	69,261	0	339,485

科　　目	公益目的事業会計 公　1	収益事業等会計 収　1	法人会計	合　計
委託費	67,250,010	12,814,231	0	80,064,241
役務費	3,173,076	230,020	0	3,403,096
原材料費	863,647	5,268,873	0	6,132,520
雑費	39,406	552,604	0	592,010
管理費	0	0	5,136,682	5,136,682
役員報酬	0	0	1,287,000	1,287,000
給料手当	0	0	948,560	948,560
退職給付費用	0	0	111,240	111,240
福利厚生費	0	0	147,559	147,559
会議費	0	0	20,392	20,392
旅費交通費	0	0	1,133	1,133
通信運搬費	0	0	10,456	10,456
減価償却費	0	0	3,159	3,159
消耗什器備品費	0	0	12,259	12,259
消耗品費	0	0	53,055	53,055
修繕費	0	0	22,791	22,791
印刷製本費	0	0	33,000	33,000
燃料費	0	0	45,933	45,933
光熱水料費	0	0	199,842	199,842
賃借料	0	0	26,726	26,726
保険料	0	0	57,709	57,709
諸謝金	0	0	11,940	11,940
租税公課	0	0	145,915	145,915
支払負担金	0	0	202,305	202,305
委託費	0	0	531,251	531,251
役務費	0	0	1,261,864	1,261,864
雑費	0	0	2,593	2,593
経常費用計	364,815,993	136,277,613	5,136,682	506,230,288
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 35,734,078	55,685,520	△ 5,072,646	14,878,796
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 35,734,078	55,685,520	△ 5,072,646	14,878,796
２．経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
什器備品除却損	2	0	0	2
経常外費用計	2	0	0	2
当期経常外増減額	△ 2	0	0	△ 2
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 35,734,080	55,685,520	△ 5,072,646	14,878,794
他会計振替額	28,586,256	△ 45,976,296	17,390,040	0
みなし寄附	27,013,451	△ 27,013,451	0	0
みなし寄附ではない他会計振替	1,572,805	△ 18,962,845	17,390,040	0
当期一般正味財産増減額	△ 7,147,824	9,709,224	12,317,394	14,878,794
一般正味財産期首残高	7,585,815	48,990,508	147,196,475	203,772,798
一般正味財産期末残高	437,991	58,699,732	159,513,869	218,651,592
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	25,000,000	0	25,000,000	50,000,000
指定正味財産期末残高	25,000,000	0	25,000,000	50,000,000
Ⅲ　正味財産期末残高	25,437,991	58,699,732	184,513,869	268,651,592

令和４年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

１　基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記　２.基本財産及び特定資産の増減額及びその残高に記載しているため、記載を省略している。

２　引当金の明細

（単位：円）

	期首残高	当期増加	当期減少		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	46,777,722	7,096,579	15,138,894	0	38,735,407

令和４年度財産目録

令和 5年 3月31日現在
（単位:円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
(流動資産)				
	預金	普通預金：931281 滋賀銀行八日市東支店	運転資金	1,476,635
		普通預金：342862 滋賀銀行八日市東支店	運転資金	2,539,658
		普通預金：344379 滋賀銀行八日市東支店	運転資金	900,338
		大口定期：64355565 滋賀銀行八日市東支店	運転資金	61,600,000
		大口定期：64355554 滋賀銀行八日市東支店	運転資金	36,300,000
		大口定期：01016833 滋賀銀行八日市東支店	運転資金	15,138,894
		各施設釣り銭	釣り銭	220,000
	未収金		３月分入場料収入等	14,220,720
流動資産合計				132,396,245
(固定資産)				
基本財産				
	基本財産	定期預金	公益目的保有財産であり、運用益を振興事業の財源として使用している。	25,000,000
	基本財産	定期預金	法人管理のために保有する財産であり、運用益を法人会計の財源として使用している。	25,000,000
特定資産				
	退職給付引当資産	定期預金	職員の退職金支払の財源として積み立てている。	38,735,407
	事業促進基金資産	定期預金	事業の拡大に伴う事業費に充当するために積み立てている資産である。	145,562,946
その他固定資産				
	車両運搬具	公用車	公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している共有財産である。	1
	什器備品	パソコン等	公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している共有財産である。	2,378,332
	什器備品	エアコン等	収益事業の用に供している。	1,145,309
	ソフトウエア	パソコンソフトウエア	公益目的保有財産であり、各事業及び管理業務で使用している共有財産である。	1
固定資産合計				237,821,996
資産合計				370,218,241

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　　額
(流動負債)				
	未払金		３月分人件費等	24,545,552
	未払金		委託業務等の未払い	28,565,807
	未払金		委託業務等の未払い	2,178,781
	預り金		源泉所得税等	989,602
	源泉所得税			446,948
	市・県民税			492,200
	社会保険料			50,454
	未払消費税等			6,551,500
流動負債合計				62,831,242
(固定負債)				
	退職給付引当金		職員に対する退職金の支払いに備えたものである。	38,735,407
固定負債合計				38,735,407
負債合計				101,566,649
正味財産				268,651,592

令和４年度財務諸表に対する注記

１　重要な会計方針

（１）固定資産の減価償却の方法

什器備品　・・・　定額法による減価償却を実施している。

（２）引当金の計上基準

退職給付引当金　・・・　職員に対する退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する額を計上している。

（３）消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

２　基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。　（単位：円）

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産	50,000,000	0	0	50,000,000
小計	50,000,000	0	0	50,000,000
特定資産				
退職給付引当資産	46,777,722	7,096,579	15,138,894	38,735,407
事業促進基金資産	145,534,470	28,476	0	145,562,946
小計	192,312,192	7,125,055	15,138,894	184,298,353
合計	242,312,192	7,125,055	15,138,894	234,298,353

３　基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。　（単位：円）

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	50,000,000	(50,000,000)	－	－
小計	50,000,000	50,000,000	－	－
特定資産				
退職給付引当資産	38,735,407	－	－	(38,735,407)
事業促進基金資産	145,562,946	－	(145,562,946)	－
小計	184,298,353	－	145,562,946	(38,735,407)
合計	234,298,353	50,000,000	145,562,946	(38,735,407)

４　固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位：円)

科目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	16,718,668	1,038,265	3,523,643
合計	16,718,668	1,038,265	3,523,643